平成３０年度
（２０１８年）

農作物有害動植物発生予察事業年報

島根県農業技術センター
島 根 県 病 害 虫 防 除 所

目　　次

Ⅰ.事業の目的…… 1
Ⅱ.事業の実施の方針と概要…… 1
Ⅲ.事業対象有害動植物の種類…… 1
Ⅳ.事業実施組織と本年度の実施方法…… 2
　1.病害虫防除所における予察事業担当者…… 2
　2.病害虫防除員…… 2
　3.予察圃場設置一覧…… 2
　4.予察灯・フェロモントラップの設置一覧…… 2
Ⅴ.事業内容…… 3
　1.平成30年度における調査観察成績…… 3
　　Ⅰ）普通作物等…… 3
　　（Ⅰ）イネ…… 3
　　　1．イネの生育状況…… 3
　　　2．病害虫に関する調査結果…… 3
　　　　1）稲こうじ病…… 3
　　　　2）葉いもち…… 3
　　　　3）穂いもち…… 4
　　　　4）縞葉枯病…… 5
　　　　5）ばか苗病…… 5
　　　　6）もみ枯細菌病…… 5
　　　　7）紋枯病…… 5
　　　　8）イネミズゾウムシ…… 6
　　　　9）コブノメイガ…… 7
　　　　10）セジロウンカ…… 8
　　　　11）ツマグロヨコバイ…… 10
　　　　12）トビイロウンカ…… 11
　　　　13）ニカメイガ…… 12
　　　　14）斑点米カメムシ類…… 14
　　　　15）ヒメトビウンカ…… 14
　　　　16）フタオビコヤガ…… 16
　　（Ⅱ）ムギ…… 16
　　　1．ムギの生育状況…… 16
　　　2．病害虫に関する調査結果…… 17
　　　　1）さび病類、うどんこ病、斑葉病、雲形病、赤かび病…… 17
　　（Ⅲ）ダイズ…… 18
　　　1．病害虫に関する調査結果…… 18
　　　　1）アブラムシ類…… 18

２）吸実性カメムシ類…… 19
３）ハスモンヨトウ…… 19
Ⅱ）果樹…… 20
（Ⅰ）ナシ…… 20
１．病害虫に関する調査結果…… 20
１）黒斑病、黒星病…… 20
２）ナシヒメシンクイ…… 22
３）ナシオオシンクイガ…… 23
４）モモシンクイガ…… 23
５）チャノコカクモンハマキ…… 24
６）チャハマキ…… 24
７）ハダニ類、カイガラムシ類…… 25
８）アブラムシ類…… 25
（Ⅱ）カキ…… 26
１．病害虫に関する調査結果…… 26
１）炭疽病…… 26
２）うどんこ病、円星落葉病、角斑落葉病、灰色かび病、果実黒すじ病… 26
３）カキミガ…… 28
４）カメムシ類・・・・・…… 29
５）チャノコカクモンハマキ…… 30
６）チャハマキ…… 30
７）カキクダアザミウマ…… 30
８）フジコナカイガラムシ…… 30
（Ⅲ）クリ…… 31
１．病害虫に関する調査結果…… 31
１）モモノゴマダラノメイガ…… 31
２）クスサン…… 32
Ⅲ）野菜…… 33
（Ⅰ）キャベツ…… 33
１．病害虫に関する調査結果…… 33
１）黒腐病…… 33
２）菌核病、軟腐病、根こぶ病、株腐病…… 33
３）モンシロチョウ…… 33
４）コナガ…… 33
５）ヨトウガ…… 34
６）ウワバ類…… 34
７）アブラムシ類…… 34
８）ハスモンヨトウ…… 34
９）シロイチモジヨトウ…… 35
10）オオタバコガ…… 36

11）キスジノミハムシ…… 36
（Ⅱ）タマネギ…… 37
１．病害虫に関する調査結果…… 37
１）べと病…… 37
２）白色疫病、ボトリチス属菌による葉枯症、腐敗病・軟腐病、さび病… 37
（Ⅲ）イチゴ…… 37
１．病害虫に関する調査結果…… 37
１）灰色かび病…… 37
２）うどんこ病…… 38
３）炭疽病…… 38
４）アブラムシ類…… 38
５）ハダニ類…… 39
６）アザミウマ類…… 39
７）コナジラミ類…… 39
Ⅳ）花弁 …… 40
（Ⅰ）キク…… 40
１．病害虫に関する調査結果…… 40
１）白さび病…… 40
２）アザミウマ類…… 40
３）アブラムシ類…… 40
Ⅴ）病害虫発生程度別面積…… 41
Ⅵ）病害虫発生経過の概要及び発生原因の解析…… 44
１．イネの病害虫…… 44
２．ムギの病害…… 45
３．ダイズの病害虫…… 45
４．ナシの病害虫…… 45
５．カキの病害虫…… 46
６．夏秋キャベツの病害虫…… 46
７．冬キャベツの病害虫…… 47
８．タマネギの病害虫…… 47
９．イチゴの病害虫…… 47
Ⅶ）情報の提供、諸報告に関する事項…… 49
１．情報の提供先…… 49
２．発表状況…… 49
３．発表内容…… 50
注意報　第１号 カキ、ナシ、スモモ　果樹カメムシ類…… 51
特殊報　第１号 トルコギキョウ　トルコギキョウ斑点病…… 53
技術資料　第１号 イチゴ　ハダニ類 …… 55
第２号 ダイズ、アブラナ科野菜　ハスモンヨトウ…… 57
Ⅷ）気象表…… 59

平成３０年度農作物有害動植物発生予察事業年報

島根県農業技術センター
島 根 県 病 害 虫 防 除 所

Ⅰ　事業の目的

病害虫の防除を適時で経済的なものとするため、病害虫の発生、農作物の生育及び気象などの状況を調査して、病害虫の発生を予察し、それに基く情報を関係者に提供する。

Ⅱ　事業実施の方針と概要

指定有害動植物に重点をおき、これらの病害虫の発生予察法の確立を図るとともに、農業普及部及び病害虫防除員などと連絡を密にし、確実な情報の収集に努め、発生予報、特殊報、注意報及びその他必要な情報をすみやかに提供して、適期防除による被害防止に努めた。また、ＪＡなど生産者団体とは絶えず緊密な連絡をとり、重要な病害虫の発生に際しては、その都度資料を提示して適切な対策について協議決定し、防除に万全を期した。

Ⅲ　事業対象有害動植物の種類

１．普通作物等

１）イネ	指　定	稲こうじ病、いもち病、縞葉枯病、ばか苗病、もみ枯細菌病、紋枯病、イネミズゾウムシ、コブノメイガ、セジロウンカ、ツマグロヨコバイ、トビイロウンカ、ニカメイガ、斑点米カメムシ類、ヒメトビウンカ、フタオビコヤガ
２）ムギ	指　定	赤かび病、うどんこ病
３）ダイズ	指　定	アブラムシ類、吸実性カメムシ類、ハスモンヨトウ

２．野菜

１）イチゴ	指　定	うどんこ病、炭疽病、灰色かび病、アザミウマ類、アブラムシ類、ハダニ類
２）キャベツ	指　定	菌核病、黒腐病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、コナガ、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ
３）タマネギ	指　定	白色疫病、べと病、アザミウマ類

３．果樹

１）カキ	指　定	炭疽病、アザミウマ類、カイガラムシ類、カキノヘタムシガ、ハマキムシ類、果樹カメムシ類
２）ナシ	指　定	黒星病、黒斑病、アブラムシ類、シンクイムシ類、ハダニ類、ハマキムシ類

４．花き

１）キク	指　定	白さび病、アザミウマ類、アブラムシ類

５．作物共通	措　定	オオタバコガ、シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、コナガ、果樹カメムシ類

Ⅳ　事業実施組織と本年度の実施方法

農作物有害動植物発生予察事業実施要綱、同要領に準拠する。

１．病害虫防除所における予察事業担当者

職　名	氏　　名	担　当
科　　長	奈良井 祐 隆	虫　害
専門研究員	澤 村 信 生	虫　害
主任研究員	福 間 貴 寿	病　害
〃	永 島　　進	病　害
〃	小 塚 雅 弘	虫　害
〃	磯 田　　淳	病　害
研　究　員	藤 原 証 太	病　害
〃	角　菜 津 子	虫　害
〃	山 本 隼 佑	虫　害

２．病害虫防除員

水稲、果樹に関する病害虫防除員は本県の主要産地である市町村に配置している。水稲17名。

３．予察圃場設置一覧

１）県予察圃場

種　類	設 置 場 所	品　　種　　等
イ　　ネ	出雲市芦渡町	コシヒカリ
ム　　ギ	〃	農林61号、アサカゴールド
ナ　　シ	〃	二 十 世 紀　（４３年生樹）
カ　　キ	〃	富　有　（４３年生樹）

２）地区予察圃場

種　　類	設　置　地　点　名
イ　　ネ	邑智郡川本町田窪
ナ　　シ	安来市中津町
カ　　キ	出雲市東福町

４．予察灯・フェロモントラップ設置一覧

病害虫名	設　　置　　地　　点　　名	備　　考
ウ　ン　カ　類	出雲市芦渡町	予察灯
ウ　ン　カ　類	出雲市芦渡町	粘着誘殺灯
ニカメイチュウ	出雲市芦渡町	ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ
モモシンクイガ	安来市中津町	ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ
ナシヒメシンクイ	安来市中津町	ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ
ヨ　ト　ウ　ガ　類	益田市飯田町	ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ

Ⅴ　事業内容

１．平成３０年度における調査観察成績

Ⅰ）普通作物等

（Ⅰ）イネ

１．イネの生育状況

１）生育概況

育苗期間の４月から５月にかけて高温・多照であったため、苗の生育や作業が順調に進み、田植期は平年及び前年に比べ１日早くなった。田植後の５月中旬から高温で推移したことから活着が順調に行われた。その後も高温で推移したことにより平坦部の一部では、藻や表層はく離による分げつ抑制や生育の極端な前進化により、茎数は全体的に少ない傾向となった。出穂期は平年に比べて１～４日早くなった。１穂籾数は、穂数が少なくなった補償作用により平年より多かったことから、全籾数は平年よりやや多くなった。８月になっても、高温・多照の傾向が続き、登熟は平年並み、収量は515kg/10aと前年産に比べ４kg減少したが、作況指数は103であった。

２）作柄及び検査概況

平成３０年産米は、生育期間が高温・多照で推移したため出穂が早まったことで穂数が減少したものの、一穂籾数の増加で補ったため、結果的に㎡あたり籾数が過剰となった。更に登熟期間となる８月下旬に平均気温が３０℃を超える日が続き、その後も９月上旬まで高温で推移したため、「心白腹白」や「基部未熟」等の整粒不足が起こりやすくなった。なお、主な格下げ理由は、青未熟粒、心白粒やカメムシなどであり、８月の天候の影響が大きかったと推察される。

（2018年産水稲・麦類・大豆の作柄概況（農業技術センター技術普及部）より抜粋）

２．病害虫に関する調査結果

１）稲こうじ病

（１）発病状況調査

①巡回における調査

調査時期	品種	調査圃場数	発生圃場率	調査株数	発病株率	株当り病粒数
９月中旬	きぬむすめ	47	8.5 %	1175 株	1.87 %	0.01 個

２）葉いもち

（１）発病状況調査

①定点における調査

○県予察圃場（出雲市芦渡町）

区　別	調査月日	草丈	茎数	発病株率	発病度	病斑型
普通肥料区	6.14	32.2cm	12.2 本	0 %	0	
	25	41.2	15.4	0	0	
	7. 5	71.9	16.6	0	0	
	13	80.4	16.9	0	0	
	25	99.4	18.0	0	0	
	8. 7	104.6	19.1	0	0	
窒素増量区	6.14	31.7	10.0	0	0	
	25	39.0	13.4	0	0	
	7. 5	70.3	12.6	0	0	
	13	83.8	12.9	0	0	
	25	98.4	14.7	0	0	
	8. 7	109.1	15.7	0	0	

注）調査株数：50株、品種：コシヒカリ(5月8日植え)

○地区予察圃場（川本町田窪）

区　別	調査月日	草丈	茎数	発病株率	発病度
普通肥料区	6.15	40.6 cm	12.0 本	0 %	0
	26	43.4	15.4	0	0
	7. 6	57.7	14.9	0	0
	17	75.5	16.8	0	0
	26	79.2	17.7	0	0
	8. 8	87.5	17.9	0	0

注）調査株数：50株、品種：コシヒカリ

②巡回による調査（特定圃場）

ア．出雲市

調査月日	発生圃場率	発病株率	発病度
6.14	0 %	0 %	0 %
25	0	0	0
7. 5	0	0	0
17	0	0	0
25	0	0	0
8. 7	0	0	0

注）20圃場、500株調査

イ．雲南市（大東町、加茂町）

調査月日	発生圃場率	発病株率	発病度
6.14	0 %	0 %	0 %
25	0	0	0
7. 5	0	0	0
13	5	0.2	0.05
25	25	1.8	0.45
8. 7	25	1.8	0.45

注）20圃場、500株調査

ウ．大田市、邑智郡、江津市

調査月日	発生圃場率	発病株率	発病度
6.15	0 %	0 %	0 %
26	0	0	0
7. 6	0	0	0
17	0	0	0
26	0	0	0
8. 5	0	0	0

注）30圃場、750株調査

③置き苗の発病状況調査

調査時期	発生地点率*
６月第１半旬	0.4 %

注）*：置き苗放置圃場に対する割合

3）穂いもち

（１）発病状況調査

①定点における調査

○県予察圃場（出雲市芦渡町）

区　別	８月21日	
	発病株率	発病穂率
普通肥料区	0 %	0 %
窒素増量区	0	0

注）調査株数：50株

○地区予察圃場（川本町田窪）

区　別	８月22日	
	発病株率	発病穂率
普通肥料区	0 %	0 %

注）調査株数：50株

４）縞葉枯病

（１）発病状況調査

①巡回における調査

調査時期	調査圃場数	発生圃場率	調査株数	発病株率	発病度
６月中旬	70	0 %	1750株	0 %	0 %
６月下旬	70	0	1750	0	0
７月上旬	70	0	1750	0	0
７月中旬	70	0	1750	0	0
７月下旬	70	0	1750	0	0
８月上旬	70	0	1750	0	0
８月下旬	70	0	1750	0	0

５）ばか苗病

（１）発病状況調査

①巡回における調査

調査時期	調査圃場数	発生圃場率	調査株数	発病株率
６月下旬	70	0 %	1750 株	0 %
７月下旬	70	0	1750	0

６）もみ枯細菌病

（１）発病状況調査

①巡回における調査

調査時期	品種	調査圃場数	発生圃場数	調査株数	発病株数	調査穂数	発病穂数
９月中旬	きぬむすめ	47	1	1175 株	1 株	24005 本	1 本

７）紋枯病

（１）発病状況調査

①定点における調査

○県予察圃場（出雲市芦渡町）

区　別	調査月日	草丈	茎数	発病株率	発病度
普通肥料区	6.14	32.2cm	12.2 本	0 %	0
	25	41.2	15.4	0	0
	7. 5	71.9	16.6	0	0
	13	80.4	16.9	0	0
	25	99.4	18.0	0	0
	8. 7	104.6	19.1	0	0
	8.21	104.6	19.8	0	0
窒素増量区	6.14	31.7	10.0	0	0
	25	39.0	13.4	0	0
	7. 5	70.3	12.6	0	0
	13	83.8	12.9	0	0
	25	98.4	14.7	0	0
	8. 7	109.1	15.7	2.0	0.5
	8.21	109.1	17.1	2.0	0.5

注）調査株数：50株、品種：コシヒカリ(5月8日植え)

○地区予察圃場（川本町田窪）

区　別	調査月日	草丈	茎数	発病株率	発病度
普通肥料区	6.15	40.6 cm	12.0 本	0 %	0
	26	43.4	15.4	0	0
	7. 6	57.7	14.9	0	0
	17	75.5	16.8	0	0
	26	79.2	17.7	0	0
	8. 8	87.5	17.9	0	0

注）調査株数：50株、品種：コシヒカリ

②巡回による調査（特定圃場）

ア．出雲市

調査月日	発生圃場率	発病株率	発病度
6.14	0 %	0 %	0
25	0	0	0
7. 5	10.0	0.4	0.1
13	15.0	1.0	0.25
25	18.2	2.1	0.52
8. 7	18.2	2.1	0.52
21	18.2	2.45	0.61

注）20圃場、500株調査

イ．雲南市（大東町、加茂町）

調査月日	発生圃場率	発病株率	発病度
6.14	0 %	0 %	0
25	0	0	0
7. 5	0	0	0
13	20.0	1.6	0.4
25	25.0	2.4	0.6
8. 7	30.0	4.4	1.10
21	40.0	9.8	4.55

注）20圃場、500株調査

ウ．大田市、邑智郡、江津市

調査月日	発生圃場率	発病株率	発病度
6.15	0 %	0 %	0
26	0	0	0
7. 6	0	0	0
17	3.3	0.13	0.03
26	3.3	0.13	0.03
8. 8	3.3	0.13	0.03
22	3.3	0.27	0.07

注）30圃場、750株調査

8）イネミズゾウムシ

（1）予察灯による成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町	
月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本　年	平　均
4． 1	0	0.0	6． 1	0	0.6	8． 1	12	7.4
2	0	0.0	2	0	1.2	2	2	6.0
3	0	0.0	3	0	0.5	3	3	2.1
4	0	0.0	4	0	1.7	4	0	1.3
5	0	0.0	5	0	12.5	5	1	0.5
6	0	0.2	6	0	30.2	6	1	0.7
5． 1	0	8.9	7． 1	0	18.2	9． 1	0	0.6
2	0	6.8	2	3	14.6	2	1	0.0
3	3	1.4	3	1	6.7	3	0	0.0
4	101	3.4	4	35	12.3	4	0	0.0
5	0	1.5	5	52	9.7	5	0	0.0
6	5	3.5	6	39	6.0	6	0	0.0
						総 計	259	158.5

（2）巡回による調査
①5月28日～31日調査

		被害程度別株数(25株/圃場)					
	圃場数	A	B	C	D	E	計
東部平坦	24	43	54	67	130	306	600
東部山間	6	0	0	4	36	110	150
西部平坦	15	0	0	0	53	322	375
西部山間	0	-	-	-	-	-	-
合　　計	45	43	54	71	219	738	1125
平　　均		0.9	1.2	1.6	4.9	16.4	25.0
被害株率(%)							34.4
被 害 度							15.4

イネミズ被害程度（被害葉率）A：91%以上，B：61～90%，C：31～60%，D：1～30%，E：0

9）コブノメイガ
（1）予察灯・粘着誘殺灯による成虫の誘殺状況
①半旬別誘殺表

地　点	出 雲 市 芦 渡 町			
	６０W白熱		２０W粘着	
月．半旬	本 年	平 年	本 年	平 年
6．1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0
7．1	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.2
4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.3
8．1	0	0.0	0	0.2
2	0	0.0	2	0.0
3	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.1
5	0	0.4	0	0.2
6	0	0.2	0	0.0
9．1	0	0.0	0	1.2
2	0	0.0	-	2.0
3	0	0.0	-	0.2
4	0	0.0	-	0.2
5	0	0.0	-	0.0
6	0	0.0	-	0.1
総　計	0	0.8	2	4.9

注）予察灯は４～９月（４～５月はデータ省略）、粘着誘殺灯は６～９月の間設置した。
粘着誘殺灯は9月6～30日まで故障により計測不能。

（２）定点における調査
①６月26～28日調査

	圃場数	50株当り成虫数	25株当り被害株数
東部平坦	22	0	0
東部山間	6	0	0
西部平坦	16	0	0
西部山間	0	0	0
合　計	44	0	0
平　均		0	0
圃場率(%)		0	0
被害株率		0	0

②７月30日～31日調査

	圃場数	50株当り成虫数	25株当り被害株数
東部平坦	24	0	2
東部山間	6	0	0
西部平坦	16	0	4
西部山間	0	0	0
合　計	46	0	6
平　均		0	0.1
圃場率(%))		0	10.9
被害株率(%)			0.5

③８月28～9月1日調査

	圃場数	50株当り成虫数	25株当り被害株数
東部平坦	22	0	0
東部山間	6	0	0
西部平坦	14	0	0
西部山間	0	0	0
合　計	42	0	0
平　均		0	0
圃場率(%))		0	0
被害株率(%)			0

１０）セジロウンカ
（１）予察灯・粘着誘殺灯による成虫の誘殺状況
①半旬別誘殺表

地　点	出雲市芦渡町			
	６０W白熱		２０W粘着	
月．半旬	本　年	平　年	本　年	平　年
６．１	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0
4	0	1.1	0	0.9
5	0	13.0	0	0.3
6	0	2.9	0	2.9
７．１	0	3.8	0	7.2
2	0	7.9	0	61.8
3	0	236.3	0	565.9
4	0	4.1	0	3.8
5	1	2.0	0	7.5
6	0	14.6	0	22.2

8．1	0	2.5	0	13.0
2	0	3.7	0	15.1
3	0	9.8	0	20.3
4	0	7.2	0	17.1
5	0	6.3	0	17.4
6	0	14.6	0	88.9
9．1	0	6.0	26	12.9
2	66	12.8	－	5.9
3	0	2.4	－	3.3
4	0	2.4	－	1.8
5	0	1.8	－	0.5
6	0	0.3	－	1.7
総 計	67	355.5	195	870.4

注）予察灯は４～９月（４～５月はデータ省略）、粘着誘殺灯は６～９月の間設置した。
粘着誘殺灯は9月6～30日まで故障により計測不能。

（２）定点と巡回による調査
①６月26～28日調査

	圃場数	成虫	幼虫	合計
東部平坦	22	1	0	1
東部山間	6	0	0	0
西部平坦	16	1	6	7
西部山間	0	0	0	0
合　計	44	2	6	8
平　均		0.1	0.1	0.2
圃場率(%)		4.5	6.8	9.1
成虫比				25.0

注）調査方法：50株払い落し（粘着板使用）

②７月30～31日調査

	圃場数	成虫	幼虫	合計
東部平坦	24	1	2	3
東部山間	6	0	2	2
西部平坦	16	16	7	23
西部山間	0	0	0	0
合　計	46	17	11	28
平　均		0.4	0.2	0.6
圃場率(%)		8.7	15.2	21.7
成虫比				60.7

注）調査方法：25株払い落し（粘着板使用）

③８月28～9月1日調査

	圃場数	成虫	幼虫	合計
東部平坦	22	8	3	11
東部山間	6	0	0	0
西部平坦	14	84	128	212
西部山間	0	0	0	0
合　計	42	92	131	223
平　均		2.2	3.1	5.3
圃場率(%)		26.2	19.0	26.2
成虫比				41.3

注）調査方法：25株払い落し（粘着板使用）

１１）ツマグロヨコバイ

（１）予察灯による成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町	
月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平 均
４．１	0	0.0	６．１	0	0.1	８．１	27	50.0
2	0	0.0	2	0	0.2	2	11	18.4
3	0	0.0	3	0	0.4	3	4	32.0
4	0	0.1	4	0	1.1	4	0	13.8
5	0	0.0	5	0	3.5	5	2	9.2
6	0	0.0	6	13	3.5	6	0	18.5
５．１	0	1.6	７．１	26	6.9	９．１	0	53.7
2	0	0.4	2	10	9.9	2	151	20.9
3	0	0.0	3	11	12.9	3	367	12.2
4	0	0.0	4	15	12.3	4	0	7.0
5	0	0.0	5	37	66.7	5	0	3.9
6	0	0.0	6	27	86.6	6	0	1.9
						総計	701	447.7

（２）定点と巡回による調査

①６月26～28日調査

	圃場数	成虫	幼虫	合計
東部平坦	22	1	5	6
東部山間	6	0	0	0
西部平坦	16	11	19	30
西部山間	0	0	0	0
合　計	44	12	24	36
平　均		0.3	0.5	0.8
圃場率(%)		11.4	15.9	20.5
成虫比				33.3

注）調査方法：50株払い落し（粘着板使用）

②７月30～31日調査

	圃場数	成虫	幼虫	合計
東部平坦	24	44	32	76
東部山間	6	9	18	27
西部平坦	16	18	54	72
西部山間	0	0	0	0
合　計	46	71	104	175
平　均		1.5	2.3	3.8
圃場率(%)		28.3	32.6	37.0
成虫比				40.6

注）調査方法：25株払い落し（粘着板使用）

③８月28～9月1日調査

	圃場数	成虫	幼虫	合計
東部平坦	22	30	93	123
東部山間	6	39	18	57
西部平坦	14	5	4	9
西部山間	0	0	0	0
合　計	42	74	115	189
平　均		1.8	2.7	4.5
圃場率(%)		28.6	40.5	45.2
成虫比				39.2

注）調査方法：25株払い落し（粘着板使用）

１２）トビイロウンカ

（１）予察灯・粘着誘殺灯による成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

地　点	出雲市芦渡町			
	６０W白熱		２０W粘着	
月．半旬	本 年	平 年	本 年	平 年
６．１	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1
７．１	0	0.0	0	0.0
2	0	0.3	0	1.1
3	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.2
８．１	0	0.2	0	1.0
2	0	0.4	0	0.2
3	0	0.5	0	0.1
4	0	0.2	0	0.2
5	0	0.7	0	2.7
6	0	0.6	0	2.3
９．１	0	0.3	0	3.2
2	1	0.7	－	3.8
3	0	0.0	－	1.3
4	0	0.1	－	0.3
5	0	0.0	－	0.4
6	0	0.0	－	0.5
総 計	1	4.1	43	17.4

注）予察灯は４～９月（４～５月はデータ省略）、粘着誘殺灯は６～９月の間設置した。
粘着誘殺灯は9月6～30日まで故障により計測不能。

（２）定点と巡回による調査

①６月26～28日調査

	圃場数	短雌	長雌	短雄	長雄	幼虫	合計
東部平坦	22	0	0	0	0	0	0
東部山間	6	0	0	0	0	0	0
西部平坦	16	0	0	0	0	0	0
西部山間	0	0	0	0	0	0	0
合　計	44	0	0	0	0	0	0
平　均		0	0	0	0	0	0
圃場率(%)		0	0	0	0	0	0
成虫比							0

注）調査方法：50株払い落し（粘着板使用）

②７月30～31日調査

	圃場数	短雌	長雌	短雄	長雄	幼虫	合計
東部平坦	22	0	0	0	0	0	0
東部山間	6	0	0	0	0	0	0
西部平坦	16	0	0	0	0	0	0
西部山間	0	0	0	0	0	0	0
合　計	44	0	0	0	0	0	0
平　均		0	0	0	0	0	0
圃場率(%)		0	0	0	0	0	0
成虫比							0

注）調査方法：25株払い落し（粘着板使用）

③８月28～9月1日調査

	圃場数	短雌	長雌	短雄	長雄	幼虫	合計
東部平坦	22	0	0	0	0	0	0
東部山間	6	0	0	0	0	0	0
西部平坦	14	0	0	0	0	0	0
西部山間	0	0	0	0	0	0	0
合　計	42	0	0	0	0	0	0
平　均		0	0	0	0	0	0
圃場率(%)		0	0	0	0	0	0
成虫比							0

注）調査方法：25株払い落し（粘着板使用）

１３）ニカメイガ

（１）予察灯による成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町	
月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平　均
４．１	0	0.0	６．１	6	7.8	８．１	3	0.8
2	0	0.0	2	1	3.0	2	5	0.8
3	0	0.0	3	0	1.4	3	1	1.2
4	0	0.0	4	0	1.1	4	2	0.4
5	1	0.3	5	0	0.4	5	0	0.2
6	0	0.0	6	0	0.0	6	1	0.8
５．１	0	0.2	７．１	1	0.0	９．１	0	0.2
2	0	0.4	2	0	0.0	2	0	0.2
3	1	1.0	3	1	0.0	3	0	0.0
4	1	2.1	4	1	0.4	4	0	0.3
5	2	6.4	5	3	1.1	5	0	0.0
6	7	15.0	6	13	3.0	6	0	0.0
						総計	50	48.5

②半旬別誘殺表（フェロモントラップ）

地　点	出雲市芦渡町		地　点	出雲市芦渡町	
月．半旬	本 年	平 年	月．半旬	本 年	平 年
４．１	0	0.0	７．１	0	0.4
2	0	0.0	2	1	0.1
3	0	0.2	3	0	0.3
4	0	0.1	4	0	0.2
5	1	0.3	5	1	0.6
6	0	1.0	6	4	3.1
５．１	5	1.5	８．１	5	3.6
2	0	8.4	2	10	1.0
3	2	9.4	3	3	0.3
4	4	9.4	4	3	3.2
5	14	28.2	5	2	1.3
6	8	26.6	6	1	2.2
６．１	22	22.0	９．１	3	1.2
2	5	8.5	2	4	1.1
3	16	5.7	3	0	0.5
4	3	1.8	4	0	0.1
5	2	0.9	5	0	1.2
6	0	1.1	6	4	0.3
			総　計	123	146.1

（２）定点と巡回による調査

	6月26～28日		7月30～31日		8月28～9月1日	
	圃場数	被害株数	圃場数	被害株数	圃場数	被害株数
東部平坦	22	1	24	0	22	2
東部山間	6	0	6	0	6	0
西部平坦	16	0	16	0	14	0
西部山間	0	0	0	0	0	0
合計	44	1	46	0	42	2
平均	0.02		0		0.05	
圃場率(%)	2.3		0		4.8	
被害株率(%)	0.1		0		0.2	

注）調査方法：25株見取り調査

１４）カメムシ類

（１）予察灯によるアカスジカスミカメ成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町	
月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平 均
４．１	0	0.0	６．１	1	0.6	８．１	26	18.0
2	0	0.0	2	1	1.0	2	5	13.7
3	0	0.0	3	0	1.9	3	9	9.7
4	0	0.0	4	0	3.2	4	0	7.3
5	0	0.0	5	0	4.4	5	7	7.0
6	0	0.0	6	11	14.1	6	2	7.3
５．１	0	0.0	７．１	10	22.0	９．１	0	4.9
2	0	0.0	2	33	27.5	2	2	1.9
3	0	0.1	3	15	27.2	3	7	1.3
4	0	0.0	4	15	20.1	4	0	0.6
5	0	0.5	5	66	21.6	5	0	0.4
6	3	0.6	6	42	19.3	6	0	1.1
						総 計	255	237.3

（２）巡回による調査

①６月26～28日調査（畦畔・雑草地など）

	圃場数	すくい取り虫数（20回振り・成幼虫）						
		ﾎｿﾊﾘ	ｼﾗﾎｼ	ﾄｹﾞｼﾗﾎｼ	ｸﾓﾍﾘ	ｱｶｽｼﾞ	ｱｶﾋｹﾞ	合 計
平 均	44	0.89	0	0.55	0.34	8.64	1.20	11.61
採取圃場率(%)		27.3	0	11.4	4.5	56.8	29.5	70.5

②７月30～31日調査（コシヒカリが出穂した圃場）

	圃場数	すくい取り虫数（20回振り・成幼虫）						
		ﾎｿﾊﾘ	ｼﾗﾎｼ	ﾄｹﾞｼﾗﾎｼ	ｸﾓﾍﾘ	ｱｶｽｼﾞ	ｱｶﾋｹﾞ	合 計
平 均	41	0.21	0	0.03	0.31	2.54	0.08	3.03
採取圃場率(%)		12.8	0	2.6	20.5	48.7	5.1	52.5

１５）ヒメトビウンカ

（１）予察灯による成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町	
月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平 均
４．１	0	0.0	６．１	0	0.0	８．１	0	0.4
2	0	0.0	2	0	0.0	2	0	0.1
3	0	0.0	3	0	0.0	3	0	0.2
4	0	0.0	4	0	0.0	4	0	0.3
5	0	0.0	5	0	0.0	5	0	0.0
6	0	0.0	6	0	0.0	6	0	0.4

5．1	0	0.0	7．1	0	0.0	9．1	0	0.0
2	0	0.0	2	0	0.0	2	0	0.1
3	0	0.0	3	0	0.1	3	0	0.0
4	0	0.0	4	0	0.0	4	0	0.1
5	0	0.1	5	0	0.0	5	0	0.0
6	0	0.0	6	0	0.3	6	0	0.0
						総計	0	2.3

（2）定点と巡回による調査

①6月26～28日調査

	圃場数	成虫	幼虫	合計
東部平坦	22	3	0	3
東部山間	6	1	0	1
西部平坦	16	4	4	8
西部山間	0	0	0	0
合　計	44	8	4	12
平　均		0.2	0.1	0.3
圃場率(%)		18.2	4.5	20.5
成虫比				66.7

注）調査方法：50株払い落し（粘着板使用）

②7月30～31日調査

	圃場数	成虫	幼虫	合計
東部平坦	24	15	2	17
東部山間	6	9	5	14
西部平坦	16	27	11	38
西部山間	0	0	0	0
合　計	46	51	18	69
平　均		1.1	0.4	1.5
圃場率(%)		43.5	23.9	45.7
成虫比				73.9

注）調査方法：25株払い落し（粘着板使用）

③8月28～9月1日調査

	圃場数	成虫	幼虫	合計
東部平坦	22	21	30	41
東部山間	6	13	16	29
西部平坦	14	48	49	97
西部山間	0	0	0	0
合　計	42	82	85	167
平　均		2.0	2.0	4.0
圃場率(%)		26.2	57.1	78.6
成虫比				49.1

注）調査方法：25株払い落し（粘着板使用）

16）フタオビコヤガ

（1）定点と巡回による調査

	6月26～28日		7月30～31日		8月28～9月1日	
	圃場数	被害株数	圃場数	被害株数	圃場数	被害株数
東部平坦	22	0	24	1	22	0
東部山間	6	0	6	0	6	0
西部平坦	16	4	16	0	14	0
西部山間	0	0	0	0	0	0
合計	44	4	46	1	42	0
平均	0.1		0.02		0	
圃場率(%)	4.5		2.2		0	
被害株率(%)	0.4		0.1		0	

注）調査方法：25株見取り調査

（Ⅱ）ムギ

１．ムギの生育状況

１）生育概況

麦類の播種は１１月から始まり、断続的な降雨により作業は前年より全体に遅れていたが、１１月末までに播種作業は終了した。播種後が低温傾向で推移したため、発芽不良や生育も平年よりやや遅れた。特に１１月中下旬播種のものが遅れており、茎数が少なく、草丈が短い傾向は２月頃まで影響した。しかしながら、３月に入って気温が平年並みとなったため、その後の気温の上昇に伴い生育も回復基調で推移した。

出穂は二条大麦、はだか麦で４月上旬から4月中旬、小麦で4月下旬頃となり、二条大麦、はだか麦はほぼ平年並みの生育進度に回復した。出穂期以降は、気温・降水量・日照時間ともに平年並みに推移したため、湿害や播種が遅れた圃場以外にあっては平年並みとなりました。

病害は出穂以降の好天や適期防除などにより少なかったが、５月３日の降雹により茎が折れたことによる倒伏が一部の圃場で見受けられた。梅雨入りは６月５日と平年並み、梅雨明けは７月９日やや早くなり、降水量も平年並みであった。収穫作業は二条大麦、はだか麦で５月下旬から６月中旬まで、小麦で６月中旬から順調に行われた。

２）作柄及び検査概況

播種作業が降雨により全体に遅れ、遅く播種したものを中心に穂数が少なくなり、平年に比べると小麦は平年並みであったが、二条大麦、はだか麦は平年よりやや不良となった。収量の平年対比は小麦が104%、二条大麦は87%、はだか麦は86%であった。品質は収穫時期に降雨の影響も少なく、順調に収穫できたため、平年並みとなった。

（2018年産水稲・麦類・大豆の作柄概況（農業技術センター技術普及部）より抜粋）

２）生育状況調査

○県予察圃場（出雲市芦渡町）

品　種　名	H30年３月26日		４月12日
	草　　丈	茎数（100cm）	草　　丈
サチホゴールデン	61.8 cm	99.7　本	58.1 cm
農林61号	43.6	91.3	70.0

注）播種日と出穂期

サチホゴールデン：H29年11月５日、H30年３月23日

農林61号：H29年11月１日、H30年４月９日

２．病害虫に関する調査結果

１）さび病類、うどんこ病、斑葉病、雲形病、赤かび病

（１）発病状況調査

①定点における調査

○県予察圃場（出雲市芦渡町）

品　種　名	さび病類			うどんこ病		
	４月12日	４月24日	５月14日	４月12日	４月24日	５月14日
サチホゴールデン	0　％	0　％	0　％	0　％	0　％	0　％
農林61号	0	0	0	0	0	0

注）表中の数字は発病茎率

雲形病、斑葉病、赤かび病の発生はみられなかった。

②巡回による調査

ア．オオムギ(二条)

調　査 月　日	調査 場所	調査 圃場数	小さび病		うどんこ病		赤かび病		斑葉病	
			発生 圃場率	発病 茎率	発生 圃場率	発病 茎率	発生 圃場率	発病 茎率	発生 圃場率	発病 茎率
30.3.27	出雲市	50	0　％	0　％	0　％	0　％	－％	－　％	0　％	0　％
4.24	出雲市	45	0	0	0	0	0	0	0	0
5.14	出雲市	45	0	0	0	0	2.2	0.02	0	0

注）黄さび病、雲形病の発生は認められなかった。

イ．オオムギ(六条)

調　査 月　日	調査 場所	調査 圃場数	小さび病		うどんこ病		赤かび病		雲形病	
			発生 圃場率	発病 茎率	発生 圃場率	発病 茎率	発生 圃場率	発病 茎率	発生 圃場率	発病 茎率
30.3.27	出雲市	5	0　％	0　％	0　％	0　％	－％	－　％	0　％	0　％
4.24	出雲市	10	0	0	0	0	0	0	0	0
5.14	出雲市	10	0	0	0	0	0	0	0	0

注）黄さび病、斑葉病の発生は認められなかった。

ウ．コムギ

調査月日	調査場所	調査圃場数	赤さび病		うどんこ病		赤かび病	
			発生圃場率	発病茎率	発生圃場率	発病茎率	発生圃場率	発病茎率
30.3.27	出雲市	30	0 %	0 %	0 %	0 %	－ %	－ %
	松江市	10	0	0	0	0	－	－
4.24	出雲市	20	0	0	0	0	0	0
4.25	松江市	16	0	0	0	0	0	0
5.14	出雲市	20	0	0	0	0	20.0	0.2
5.15	松江市	16	31.3	0.7	0	0	0	0

注）黄さび病の発生は認められなかった。

（Ⅲ）ダイズ

１．ダイズの生育状況

１）生育概況

種は早いところで６月上旬から始まり、梅雨明け後播種のものが７月下旬頃に終了した。

梅雨入りは６月５日となり、梅雨の前半は降雨が少なく、播種作業は順調に進んだが、６月下旬の降雨により、播種作業の遅延や湿害による発芽不良が見受けられた。なお、一部の圃場では播き直しが行われた圃場も見受けられた。梅雨明けは７月９日とやや早く平年並みの降水量となった。梅雨明け以降は殆ど降水がない日が続き、７月第３半旬から８月第２半旬の一ヶ月間の降水量は平年の２%以下と極端な渇水状況となったため、中耕・培土作業は順調に行われたが、一部では畝間灌水による干ばつ被害防止対策がとられた。９月に入ると降水量も平年並みまで回復したことから、粒肥大が順調に行われたが、ハダニの発生やハスモンヨトウの食害が散見され、一部の圃場ではハスモンヨトウの食害により収穫皆無となる圃場も見受けられた。収穫作業は１１月上旬から始まり、降雨日が少なかったため順調に作業が進み、１２月中旬にはほとんどの地域で収穫作業が終了した。

２）作柄及び検査概況

大豆作付面積は805haで18ha減少し、10aあたり収穫量も110kgと2014年以来の高単収を記録した前年に比べ大幅に減少した。県全体でも886ｔと前年を下回る結果となった。これは、生育期間全般にわたって好天であったことから、着莢や粒肥大が良好であったが、一部地域で病虫害による影響が大きかったのではないかと推察される。

収穫作業については一部で降雨による刈遅れがあったが、１１月上旬の好天により順調に進んだ。このため品質面でも、前年と比較し、普通大豆の検査数量及び１等比率が大幅に増え、特定加工用大豆が減少するなど、全体に良い結果となった。

（2018年産水稲・麦類・大豆の作柄概況（農業技術センター技術普及部）より抜粋）

３．病害虫に関する調査結果

１）アブラムシ類

（１）黄色水盤による有翅虫の有殺状況

①半旬別誘殺数

イチゴのアブラムシ類の項参照。

2）吸実性カメムシ類

（1）パネルトラップによる調査（出雲市芦渡町）

調査月日	アオクサカメムシ	イチモンジカメムシ	ホソヘリカメムシ
7月17日	5	1	103
7月24日	0	1	21
7月30日	0	1	12
8月8日	0	6	19
8月17日	0	3	20
8月22日	1	1	2
8月27日	0	1	4
9月11日	0	0	10
9月16日	0	3	31
10月3日	0	2	6
10月12日	0	3	10
10月19日	0	1	2
10月26日	0	0	1
11月4日	0	0	1

3）ハスモンヨトウ

（1）フェロモントラップによる雄成虫の誘殺状況

キャベツのハスモンヨトウの項に掲載。

（2）被害状況調査

①巡回による調査（斐川地区）

調査月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	1a当り白変か所数
30.8. 24	20	40	0.8

Ⅱ）果樹

※圃場No. は連番とはせず、過去の調査と比較しやすいように固有番号としている。

（Ⅰ）ナシ

１．病害虫に関する調査結果

１）黒斑病、黒星病

（１）発病状況調査（１圃場10新梢の全葉について調査。４月下旬は幼果について１圃場100果実調査）

①定点における調査

地区予察圃場（安来市中津町、二十世紀、慣行散布）調査結果は圃場NO.7に記載。

②巡回による調査（安来市、二十世紀、慣行散布）

ア．2018年４月23日調査

圃場	調査	落葉率(%)	調　査	黒　斑　病		黒　星　病	
NO.	葉数		生葉数	発病葉率(%)	発病度	発病葉率(%)	発病度
５	66	0	66	0	0	0	0
７	75	0	75	0	0	0	0
８	77	0	77	0	0	0	0
１０	75	0	75	0	0	0	0
１４	70	0	70	0	0	0	0
１５	66	0	66	0	0	0	0
１６	69	0	69	0	0	0	0
１７	79	0	79	0	0	0	0
平均	72.1	0	72.1	0	0	0	0

圃場	調査	黒　星　病
NO.	幼果数	発病幼果率(%)
５	100	0
７	100	0
８	100	0
１０	100	0
１４	100	0
１５	100	0
１６	100	0
１７	100	0
平均	100	0

イ．５月31日調査

圃場	調査	落葉率(%)	調　査	黒　斑　病		黒　星　病	
NO.	葉数		生葉数	発病葉率(%)	発病度	発病葉率(%)	発病度
５	172	0	172	0.6	0.2	0	0
７	160	0	160	1.9	0.5	0.6	0.2
８	174	0	174	10.9	2.9	1.7	0.4
１０	168	0	168	0.6	0.2	0	0
１４	167	0	167	0	0	0	0
１５	147	0	147	0	0	0	0
１６	164	0	164	3.7	0.9	3.1	0.8
１７	151	0	151	2.7	0.7	0	0
平均	162.9	0	162.9	2.5	0.7	0.7	0.2

ウ．６月27日調査

圃場	調査	落葉率(%)	調　査	黒　斑　病		黒　星　病	
NO.	葉数		生葉数	発病葉率(%)	発病度	発病葉率(%)	発病度
7	171	0	171	7.7	2.0	0	0
8	158	0	158	22.0	5.8	3.8	1.0
１０	163	0	163	3.7	0.9	1.8	0.5
１４	217	0	217	2.1	0.5	0	0
１５	194	0	194	3.4	0.9	0	0
１７	207	0	207	0.5	0.1	0	0
平均	185.0	0	185.0	6.6	1.7	0.9	0.2

エ．７月26日調査

圃場	調査	落葉率(%)	調　査	黒　斑　病		黒　星　病	
NO.	葉数		生葉数	発病葉率(%)	発病度	発病葉率(%)	発病度
5	188	0	188	3.7	0.9	1.6	0.4
7	196	0	196	24.5	7.9	0.5	0.1
8	201	1.5	198	39.4	15.0	5.6	1.4
１０	188	0	188	10.1	2.5	4.3	1.1
１４	221	0	221	1.4	0.7	0	0
１５	200	0	200	2.5	0.6	0	0
１７	241	0	241	5.0	1.5	0	0
平均	205.0	0.2	204.6	12.4	4.2	1.7	0.4

オ．８月28日調査

圃場	調査	落葉率(%)	調　査	黒　斑　病		黒　星　病	
NO.	葉数		生葉数	発病葉率(%)	発病度	発病葉率(%)	発病度
7	180	7.2	167	32.9	13.6	0	0
8	151	15.2	128	59.4	29.1	7.0	1.8
１０	166	0.6	165	17.0	5.5	3.0	0.8
１４	194	0	194	2.6	0.6	0.5	0.1
１５	190	0	190	7.4	1.8	0	0
１７	214	0	214	3.7	1.1	0.5	0.1
平均	182.5	3.8	176.3	20.5	8.6	1.8	0.5

2）ナシヒメシンクイ

（1）予察灯による成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

月・半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町）				地区予察圃場(安来市中津町)	
	水銀灯（１００W）		フェロモントラップ		フェロモントラップ	
	本 年	平 年	本 年	平 年	本　年	平　年
4．1	0	0.0	0	0.5	0	0.6
2	0	0.0	0	0.6	0	0.9
3	0	0.0	0	2.1	0	30.8
4	0	0.0	2	5.1	0	13.1
5	0	0.0	4	3.2	0	36.4
6	0	0.0	7	4.6	0	14.7
5．1	0	0.0	4	4.6	0	38.8
2	0	0.0	1	3.3	0	34.9
3	0	0.0	1	1.6	0	20.0
4	0	0.0	0	2.5	4	10.1
5	0	0.0	0	0.5	0	16.3
6	0	0.0	0	1.0	7	9.8
6．1	0	0.0	0	2.1	6	6.1
2	0	0.0	1	6.5	3	7.9
3	0	0.0	2	2.8	6	20.1
4	0	0.0	1	2.0	0	19.2
5	0	0.0	0	1.4	6	36.5
6	0	0.0	0	0.7	12	34.5
7．1	0	0.0	2	0.8	24	2.2
2	0	0.0	0	1.0	0	28.5
3	0	0.0	0	1.3	5	13.8
4	0	0.0	0	4.9	0	36.7
5	0	0.0	3	4.1	2	25.9
6	0	0.0	0	2.2	16	22.1
8．1	0	0.0	0	1.1	4	1.7
2	0	0.0	1	2.5	0	24.0
3	0	0.0	1	2.2	3	14.4
4	0	0.0	0	0.8	2	19.0
5	0	0.0	0	0.9	3	13.3
6	0	0.1	0	0.3	4	11.3
9．1	0	0.0	0	0.9	0	10.6
2	0	0.1	0	1.6	0	7.0
3	0	0.0	0	1.2	0	9.2
4	0	0.0	0	0.2	0	1.8
5	0	0.0	0	0.0	0	3.7
6	0	0.0	0	0.0	0	0.7
１０．1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合　計	0	0.1	33	71.1	108	596.6

3）ナシオオシンクイガ

（1）予察灯による成虫の誘殺状況

月・半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町） 本年	県予察圃場（出雲市芦渡町） 平年	月・半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町） 本年	県予察圃場（出雲市芦渡町） 平年
4. 1	0	0.0	8. 1	0	0.0
2	0	0.0	2	0	0.0
3	0	0.0	3	0	0.0
4	0	0.0	4	0	0.0
5	0	0.0	5	0	0.0
6	0	0.0	6	0	0.0
5. 1	0	0.0	9. 1	0	0.0
2	0	0.0	2	0	0.0
3	0	0.0	3	0	0.0
4	0	0.0	4	0	0.0
5	0	0.0	5	0	0.0
6	0	0.0	6	0	0.0
6. 1	0	0.0	10.1	0	0.0
2	0	0.0	2	0	0.0
3	0	0.0	3	0	0.0
4	0	0.0	4	0	0.0
5	0	0.0	5	0	0.0
6	0	0.0	6	0	0.0
7. 1	0	0.0	合計	0	0.0
2	0	0.0			
3	0	0.0			
4	0	0.0			
5	0	0.0			
6	0	0.0			

4）モモシンクイガ

（1）フェロモントラップによる雄成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表（モモシンクイガ）

月・半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町） 本年	県予察圃場（出雲市芦渡町） 平年	地区予察圃場（安来市中津町） 本年	地区予察圃場（安来市中津町） 平年	月・半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町） 本年	県予察圃場（出雲市芦渡町） 平年	地区予察圃場（安来市中津町） 本年	地区予察圃場（安来市中津町） 平年
5．1	0	0.0	0	0.0	8．1	0	0.0	11	7.0
2	0	0.0	0	0.0	2	0	0.0	0	8.3
3	0	0.0	0	0.0	3	0	0.0	7	29.0
4	0	0.0	0	0.0	4	0	0.0	4	9.0
5	0	0.0	0	0.0	5	0	0.0	12	20.6
6	0	0.0	15	0.0	6	0	0.0	8	13.1
6．1	0	0.0	14	4.6	9．1	0	0.0	0	2.0
2	0	0.0	20	14.8	2	0	0.0	0	1.3
3	0	0.0	20	21.7	3	0	0.0	0	2.2
4	0	0.0	0	15.9	4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	12	27.2	5	0	0.0	0	0.9
6	0	0.0	14	22.1	6	0	0.0	0	0.0
7．1	0	0.0	41	13.5	１０．1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	28	17.8	2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	11	12.9	3	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	16.0	4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	6	12.5	5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	31	14.7	6	0	0.0	0	0.0
				合　計		0	0.0	254	287.1

5）チャノコカクモンハマキ

（１）成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

月 半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町）				月 半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町）			
	水銀灯(100W)		ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ			水銀灯(100W)		ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ	
	本年	平年	本年	平年		本年	平年	本年	平年
4. 1	0	0.0	0	0.0	8. 1	0	0.0	0	1.2
2	0	0.0	0	0.4	2	1	0.3	3	1.2
3	0	0.0	0	0.3	3	0	0.6	2	1.1
4	0	0.0	2	2.2	4	0	0.7	2	1.0
5	0	0.1	4	2.4	5	0	0.3	1	1.2
6	0	0.0	7	3.7	6	0	0.9	0	1.1
5. 1	02	0.4	7	5.0	9. 1	2	0.2	0	1.5
2	0	0.1	3	6.0	2	0	1.0	3	1.8
3	1	0.6	3	2.3	3	2	0.9	0	2.1
4	4	0.7	0	1.7	4	0	0.7	6	2.7
5	1	0.5	2	2.6	5	0	0.5	0	0.6
6	0	0.3	0	1.3	6	0	0.1	0	0.1
6. 1	0	0.0	3	0.8	10. 1	0	0.3	0	0.3
2	0	0.8	0	1.8	2	0	0.0	0	0.1
3	0	0.6	0	1.3	3	0	0.1	0	0.0
4	0	0.8	6	3.9	4	0	0.3	0	0.0
5	0	0.8	0	1.4	5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.3	0	0.9	6	0	0.0	0	1.6
7. 1	1	0.3	3	0.9	合 計	12	16.9	63	64.1
2	0	1.2	0	1.4					
3	0	0.8	3	1.0					
4	0	0.3	2	2.7					
5	0	1.1	0	1.5					
6	0	0.3	1	1.0					

6）チャハマキ

（１）成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

月 ・ 半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町）				月 ・ 半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町）			
	水銀灯(100W)		ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ			水銀灯(100W)		ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ	
	本年	平年	本年	平年		本年	平年	本年	平年
4. 1	0	0.0	0	0.0	8. 1	0	0.5	0	5.6
2	0	0.0	0	0.5	2	0	0.5	1	0.5
3	0	0.0	5	1.1	3	0	0.6	2	1.3
4	0	0.1	1	3.7	4	0	0.7	0	0.3
5	0	0.0	4	2.3	5	1	0.6	0	1.0
6	0	0.0	2	1.1	6	0	0.9	0	0.9
5. 1	0	0.0	1	2.1	9. 1	0	0.0	2	0.4
2	0	0.4	3	2.1	2	0	0.3	1	1.5
3	1	0.5	2	3.6	3	0	0.8	0	0.2
4	2	0.5	1	1.1	4	1	0.3	0	0.5
5	1	0.5	0	1.6	5	1	0.3	0	0.5
6	0	0.4	1	0.6	6	1	0.2	0	0.8
6. 1	0	0.6	1	0.8	10. 1	1	0.2	1	0.3
2	0	0.8	2	0.8	2	0	0.0	0	1.5
3	0	0.8	0	0.7	3	1	0.0	0	0.8
4	1	0.8	0	0.6	4	0	0.0	0	0.0
5	1	0.9	2	1.0	5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	2.0	6	0	0.0	0	0.0
7. 1	1	0.3	2	1.5	合 計	14	14.6	41	52.3
2	0	0.4	1	1.2					
3	1	1.0	2	0.6					
4	0	0.1	0	2.3					
5	1	0.2	1	2.2					
6	0	0.3	3	2.7					

7）ハダニ類、カイガラムシ類

（1）越冬バンドトラップによる越冬密度調査

調査場所	カンザワハダニ		クワコナカイガラムシ	
	本年	平年	本年	平年
中津町地区圃	0.0	0.1	0.0	0.0
〃 2	0.0	0.2	0.0	0.0
〃 3	0.0	0.2	0.0	0.0
〃 4	0.0	0.0	0.0	0.0
島田町 1	0.0	2.9	0.0	0.0
〃 2	0.0	0.0	0.0	0.0
〃 3	0.0	0.0	0.0	0.0
〃 4	0.0	0.0	0.0	0.0
平 均	0.0	0.4	0.0	0.00

注）1．トラップは幅20cmのクラフト紙を太枝に巻き付けた。
2．1圃3個設置。　トラップ当り虫数。

（2）発生状況調査

①巡回による調査（特定圃場）

調査月日	4/23	5/31		6/23		7/26		8/28	
圃 場 No.	花叢率	寄生葉率	寄生虫数	寄生葉率	寄生虫数	寄生葉率	寄生虫数	寄生葉率	寄生虫数
	%	%		%		%		%	%
地区予察圃 1	0.0	2.0	2.5	2.0	2.5	86.0	530.0	8.0	10.0
2	2.0	0.0	0.0	16.0	30.0	64.0	295.0	26.0	32.5
3	4.0	0.0	0.0	2.0	2.5	76.0	207.5	6.0	7.5
4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	15.0	0.0	0.0
島 田 1	0.0	8.0	15.0	6.0	7.5	2.0	2.5	0.0	0.0
2	0.0	4.0	5.0	14.0	45.0	6.0	7.5	0.0	0.0
3	0.0	0.0	0.0	2.0	2.5	16.0	30.0	0.0	0.0
4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56.0	110.0	0.0	0.0
平 均	0.9	1.8	2.8	5.2	11.3	39.3	149.7	5.0	6.3

注）1．50花叢・50葉調査
2．寄生雌成虫数は寄生程度別葉数から算出
寄生程度
A：1 ～ 5　頭／葉　　虫数＝2.5A＋7.5B＋15C＋25D
B：6 ～ 10
C：11 ～ 20
D：21 ～
E：0

8）アブラムシ類

（1）発生状況調査

①巡回による調査（特定圃場）

調査月日	4/23		5/31		6/23	
圃場No.	寄生梢率	寄生度	寄生梢率	寄生度	寄生梢率	寄生度
地区予察圃場 1	0.0 %	0.0	0.0 %	0.0	0.0 %	0.0
2	0.0	0.0	8.0	2.0	0.0	0.0
3	0.0	0.0	18.0	7.0	4.0	1.0
4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
島 田 1	0.0	0.0	10.0	3.0	0.0	0.0
2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	1.0
3	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
4	0.0	0.5	0.0	0.0	4.0	1.0
平 均	0.0	0.1	4.5	1.8	1.5	0.4

注）1．圃場当り50梢調査。

2．寄生度＝ $\dfrac{4A+3B+2C+D}{4\times N\text{（調査新梢数）}} \times 100$

A：先端４葉全てに寄生
B：〃 ３葉に寄生
C：〃 ２葉 〃
D：〃 １葉 〃
E：寄生なし

（Ⅱ）カキ

１．病害虫に関する調査結果

１）炭疽病

（１）発病状況調査

（６～８月に１圃場１樹50新梢、７～10月に１圃場１樹50果実について調査）

①定点における調査

地区予察圃場（出雲市東福町、富有、慣行散布）調査結果は圃場NO.１に記載

②巡回による調査（出雲市、慣行散布）

２）うどんこ病、円星落葉病、角斑落葉病、灰色かび病、果実黒すじ病

（１）発病状況調査（１圃場１樹10新梢の全葉について調査。灰色かび病、果実黒すじ病については７～10月に１圃場１樹50果実について調査）

①定点における調査

地区予察圃場（出雲市東福町、富有、慣行散布）調査結果は圃場NO.１に記載

②巡回による調査（出雲市、慣行散布）

ア．2018年４月26日

調査園No.	調査葉数	落葉率	灰色かび病 発病葉率	備考(品種)
1	84	0 %	0 %	富　有
6	61	0	0	西　条
8	62	0	1.6	西　条
10	72	0	0	富　有
11	72	0	0	富　有
12	78	0	0	富　有
13	74	0	0	富　有
14	72	0	0	富　有
平　均	71.9	0	0.2	

イ．５月28日

調査園No.	調査葉数	落葉率	うどんこ病		灰色かび病
			発病葉率	発病度	発病葉率
6	67	0 %	0 %	0	6.0%
8	71	1.4	0	0	0
10	86	0	0	0	0
11	75	0	0	0	1.3
12	87	0	0	0	0
13	87	0	0	0	0
14	88	0	0	0	0
平　均	80.1	0.2	0	0	2.5

ウ．６月26日

調査園No.	調査葉数	落葉率	炭疽病	うどんこ病		灰色かび病
			発病枝率	発病葉率	発病度	発病葉率
1	81	0 %	0 %	3.7%	1.2	0 %
6	93	0	0	0	0	3.2
8	72	0	0	0	0	0
10	92	0	0	2.2	0.5	0
11	83	0	0	0	0	0
12	104	0	0	0	0	0
13	91	0	0	0	0	0
14	96	0	0	0	0	0
平　均	89.0	0	0	0.7	0.2	0.4

エ．７月27日

調査園No.	調査葉数	落葉率	炭疽病	うどんこ病		灰色かび病
			発病枝率	発病葉率	発病度	発病葉率
1	70	0 %	0 %	45.7%	14.6	0 %
6	79	0	0	0	0	0.3
8	71	0	0	1.4	0.4	0
10	80	0	0	6.3	1.9	0
11	77	0	0	2.6	1.3	0
12	82	0	0	0	0	0
13	68	0	0	0	0	0
14	92	0	0	1.1	0.3	0
平 均	77.4	0	0	7.1	2.3	0.04

調査園No.	調査果数	炭疽病	灰色かび病	果実黒すじ病
		発病果率	発病果率	発病果率
1	50	0 %	0 %	0 %
6	50	0	0	0
8	50	0	0	0
10	50	0	0	0
11	50	0	0	0
12	50	0	0	0
13	50	0	0	0
14	50	0	0	0
平均	50.0	0	0	0

オ. ８月30日

調査園No.	調査葉数	落葉率	炭疽病	うどんこ病	
			発病枝率	発病葉率	発病度
1	78	0 %	0 %	26.9%	8.3
6	93	1.1	0	2.2	0.5
10	82	0	0	14.6	5.2
11	78	0	0	2.6	0.6
12	97	0	0	0	0
13	75	0	0	0	0
14	94	0	0	4.3	1.9
平 均	85.3	0.2	0	7.2	2.4

調査園No.	調査果数	炭疽病	灰色かび病	果実黒すじ病
		発病果率	発病果率	発病果率
1	50	0 %	0 %	0 %
6	50	0	6.0	0
10	50	0	2.0	0
11	50	0	0	0
12	50	0	4.0	0
13	50	0	0	0
14	50	0	0	0
平均	50.0	0	1.5	0

カ．10月５日

調査	調査	落葉	円星落葉病		うどんこ病		角斑落葉病	
園No.	葉数	率	発病葉率	発病度	発病葉率	発病度	発病葉率	発病度
1	71	0 %	0 %	0	35.2%	11.3	0 %	0
6	91	2.2	0	0	21.3	6.2	0	0
10	76	0	0	0	28.9	11.8	0	0
11	70	2.9	0	0	42.6	16.5	0	0
12	104	0	0	0	5.8	1.4	0	0
13	78	0	0	0	0	0	0	0
14	108	0	0	0	13.0	5.3	0	0
平均	85.4	0.7	0	0	21.0	7.5	0	0

調査園No.	調査果数	炭疽病	灰色かび病	果実黒すじ病
		発病果率	発病果率	発病果率
1	50	0 %	0 %	0 %
6	50	0	0	0
10	50	0	0	0
11	50	0	0	0
12	50	0	0	0
13	50	0	0	0
14	50	0	0	0
平均	50.0	0	0	0

3）カキミガ

（１）予察灯による成虫の誘殺状況

県予察圃場（出雲市芦渡町）での誘殺は認めなかった。

（２）被害の発生消長調査

平田市の一般圃場５園において５月下旬～８月下旬に５回各園100果について調査を行ったが被害は認めなかった。

4）カメムシ類

（1）予察灯による成虫の誘殺状況（水銀灯100W）

○県予察圃場（出雲市芦渡町）

月・半旬	ﾁｬﾊﾞﾈｱｵｶﾒﾑｼ		ｸｻｷﾞｶﾒﾑｼ		ﾂﾔｱｵｶﾒﾑｼ		ｱｵｸｻｶﾒﾑｼ	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4. 1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5. 1	0	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.6	0	0.0	0	0.0
3	0	19.7	0	1.4	0	1.3	0	0.1
4	263	2.1	85	0.3	46	1.8	0	0.0
5	0	1.9	0	0.3	0	3.5	0	0.0
6	0	4.7	0	0.9	0	3.7	0	0.0
6. 1	1	1.2	2	0.0	1	0.7	0	0.0
2	0	1.5	0	0.6	0	1.2	0	0.0
3	0	6.3	0	0.7	0	6.6	0	0.0
4	0	9.0	0	0.5	0	7.5	0	0.0
5	0	6.2	0	0.4	0	5.9	0	0.2
6	0	13.7	0	2.7	0	8.7	0	0.1
7. 1	79	71.8	31	7.2	4	10.9	0	0.2
2	30	50.2	18	13.0	1	17.1	0	0.3
3	25	57.5	44	17.6	1	10.0	2	0.5
4	42	112.4	53	36.5	0	8.8	0	0.3
5	99	81.5	48	44.7	0	12.6	0	2.8
6	123	117.2	82	54.3	0	11.0	0	1.2
8. 1	232	85.7	83	47.8	17	16.6	1	0.6
2	238	96.6	46	51.1	25	22.8	0	0.7
3	531	101.6	53	51.3	147	34.4	0	0.3
4	672	133.4	57	45.2	138	46.2	0	0.1
5	975	96.0	49	43.9	105	19.8	0	0.2
6	553	57.8	71	19.7	205	7.5	0	0.0
9. 1	100	18.1	7	2.6	42	3.8	0	0.1
2	68	9.7	2	1.1	13	3.1	0	0.0
3	208	30.0	0	2.3	109	3.6	0	0.0
4	100	4.1	4	0.0	90	1.9	0	0.0
5	48	6.4	0	1.2	45	6.4	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.2	0	0.0
10. 1	0	0.7	0	0.0	0	2.6	0	0.0
2	0	3.6	0	0.6	0	3.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.6	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.3	0	0.0
5	0	0.0	0	1.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0
合計	4378	1200.8	735	449.7	989	284.1	3	7.7

5）チャノコカクモンハマキ

（1）予察灯・フェロモントラップによる成虫の誘殺状況
ナシのチャノコカクモンハマキの項に掲載

6）チャハマキ

（1）予察灯・フェロモントラップによる成虫の誘殺状況
ナシのチャハマキの項に掲載

7）カキクダアザミウマ

（1）粘着トラップによる誘殺状況
○県予察圃場（出雲市芦渡町）
①越冬成虫の誘殺状況

月　日	誘殺数	月　日	誘殺数	月　日	誘殺数
4.11	0	4.21	0	5. 1	0
12	0	22	0	2	0
13	0	23	0	3	0
14	0	24	0	4	0
15	0	25	0	5	0
16	0	26	0	6	0
17	0	27	0	7	0
18	0	28	0	8	0
19	0	29	0	9	0
20	0	30	0	10	0
				合　計	0

②第1世代成虫の誘殺状況

月．半旬	本年	平年	月．半旬	本年	平年	月．半旬	本年	平年
6. 1	0	0.3	7. 1	1	1.4	8. 1	0	0.0
2	5	0.9	2	0	0.3	2	0	0.0
3	3	1.5	3	0	0.0	3	0	0.0
4	2	0.3	4	0	0.0	4	0	0.0
5	0	0.3	5	0	0.0	5	0	0.0
6	3	1.2	6	0	0.0	6	0	0.0
						合　計	14	6.3

8）フジコナカイガラムシ

（1）フェロモントラップによる誘殺状況（一般圃場：出雲市東福町）

月．半旬	誘殺数	月．半旬	誘殺数	月．半旬	誘殺数
3. 1	－	6. 1	2	9. 1	45
2	－	2	0	2	32
3	－	3	9	3	71
4	－	4	0	4	90
5	－	5	5	5	65
6	－	6	2	6	42
4. 1	－	7. 1	1	10. 1	16
2	－	2	14	2	5
3	－	3	77	3	0
4	－	4	31	4	2
5	0	5	8	5	1
6	1	6	5	6	0
5. 1	0	8. 1	0	11. 1	0
2	2	2	7	2	0
3	35	3	18	3	0
4	12	4	36	4	0
5	48	5	51	5	0
6	9	6	81	6	－

（２）果実の被害状況
○一般圃場（平田市）

調査月日	調査数	カメムシ 被害果数	カメムシ 被害果率(%)	カキクダアザミウマ 被害＊梢数	カキクダアザミウマ 被害梢率(%)	コナカイガラムシ 被害果数	コナカイガラムシ 被害果率(%)	ハマキムシ 被害果数	ハマキムシ 被害果率(%)
4.23	－	－	－	0	0	0	0	－	－
5.11	－	－	－	0	0.2	0	0	0	0
5.28	500	0	0.0	0	0	0	0	0	0
6.26	500	0	0.0	0	0	2	0.4	2	0.4
7.27	500	0	0.0	0	0	11	2.2	9	1.8
8.28	500	3	0.6	0	0	33	6.6	10	2.0
9.25	500	13	2.6	0	0	41	8.2	19	3.8
10.30	400	18	4.5	0	0	32	8.0	21	5.3

注）＊：各園100新梢、計500新梢調査

（３）定点における調査
①収穫果実の被害調査
○一般圃場（平田市）

調査月日	調査果数	カメムシ 被害果数	カメムシ 被害果率(%)	カキクダアザミウマ 被害果数	カキクダアザミウマ 被害果率(%)	コナカイガラムシ 被害果数	コナカイガラムシ 被害果率(%)	ハマキムシ 被害果数	ハマキムシ 被害果率(%)
11.12	516	34	6.5	0	0.0	52	10.1	44	8.5

（Ⅲ）クリ
１．病害虫に関する調査結果
１）モモノゴマダラノメイガ
（１）予察灯による成虫の誘殺状況
○県予察圃場（出雲市芦渡町）

月．半旬	本　年	平　年	月．半旬	本　年	平　年
５．１	0	0.0	８．１	1	0.1
２	0	0.0	２	0	0.1
３	0	0.0	３	1	0.0
４	0	0.0	４	0	0.2
５	0	0.0	５	0	0.4
６	0	0.0	６	0	0.0
６．１	0	0.0	９．１	0	0.1
２	0	0.4	２	0	0.0
３	0	0.5	３	0	0.0
４	0	0.0	４	0	0.0
５	0	0.3	５	0	0.0
６	0	0.1	６	0	0.1
７．１	0	0.1	１０．１	0	0.0
２	1	0.3	２	0	0.0
３	0	0.0	３	0	0.0
４	1	0.0	４	0	0.0
５	0	0.0	５	0	0.0
６	1	0.5	６	0	0.0
			合　計	5	3.2

2）クスサン

（1）予察灯による成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

○県予察圃場（出雲市芦渡町）

月．半旬	本 年	平 年	月．半旬	本 年	平 年	月．半旬	本 年	平 年
8．1	0	0.0	9．1	0	0.2	10．1	13	11.8
2	0	0.0	2	0	0.9	2	8	9.1
3	0	0.0	3	0	1.5	3	1	2.7
4	0	0.0	4	0	0.9	4	0	0.1
5	0	0.2	5	5	3.0	5	0	0.0
6	0	0.0	6	3	4.5	6	0	0.0
						合 計	30	34.9

Ⅲ）野菜

（Ⅰ）キャベツ

１．病害虫に関する調査結果

１）黒腐病

（１）発病状況調査

①巡回による調査

○調査場所：斐川町

調査月日	作型	調査圃場数	黒　腐　病	
			発生圃場率(%)	発病株率(%)
’18.9.21	夏秋	7	14.3	0.3
	冬	15	0	0
11.13	夏秋	5	20.0	0.8
	冬	15	0	0

注）調査株数：50株/圃場。

２）菌核病

（１）発病状況調査

①巡回による調査

○調査場所：斐川町

調査月日	作型	調査圃場数	菌　核　病	
			発生圃場率(%)	発病株率(%)
’18. 9.21	夏秋	7	14.3	0.3
	冬	15	0	0
11.13	夏秋	5	20.0	2.6
	冬	15	0	0

注）調査株数：50株/圃場。

３）モンシロチョウ

（１）発生状況調査

①巡回による調査

ア．夏秋キャベツ

○松江地区

調査年月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	寄生株率(%)	10株当り虫数
18. 8. 24	13	27.3	1.4	0.14
18. 9. 25	10	40.0	2.0	0.20

注）調査株数：10株/圃場(8.27)、20株/圃場(9.30)。

４）コナガ

（１）発生状況調査

モンシロチョウと同時に調査を行った。

①巡回による調査

ア．夏秋キャベツ

○松江地区

調査年月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	寄生株率(%)	10株当り虫数
18. 8. 24	13	0	0	0
18. 9. 25	10	0	0	0

注）調査株数：20株/圃場(8.24)、20株/圃場(9.25)。

5）ヨトウガ
（1）発生状況調査
モンシロチョウと同時に調査を行った。
①巡回による調査
ア．夏秋キャベツ
○松江地区

調査年月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	幼虫寄生株率(%)
18．8．24	13	0	0
18．9．25	10	0	0

注）調査株数：20株/圃場(8.24)、20株/圃場(9.25)。

6）ウワバ類
（1）発生状況調査
モンシロチョウと同時に調査を行った。
①巡回による調査
ア．夏秋キャベツ
○松江地区

調査年月日	調査圃場数	発生圃場率	寄生株率	10株当り虫数			
		(%)	(%)	卵	幼虫	蛹	計
18．8．24	13	7	0.02	1.30	0	0	1.30
18．9．25	10	10	0	0	0	0	0

注）調査株数：20株/圃場(8.24)、20株/圃場(9.25)。

7）アブラムシ類
（1）黄色水盤による有翅虫の有殺状況
①半旬別誘殺数
イチゴのアブラムシ類の項参照。
（2）発生状況調査
モンシロチョウと同時に調査を行った。
②巡回による調査
ア．夏秋キャベツ
○松江地区

調査年月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	寄生株率(%)
18．8．24	13	76.9	23.3
18．9．25	10	90	25.5

注）調査株数：20株/圃場(8/24)、20株/圃場(9.25)。

8）ハスモンヨトウ
（1）フェロモントラップによる雄成虫の誘殺状況
①半旬別誘殺数
○設置場所：出雲市芦渡町

月．半旬	本 年	*平 年	月．半旬	本 年	*平 年	月．半旬	本 年	*平 年
4． 1	0	0.5	6． 3	6	18.3	8． 5	0	43.0
2	0	0.1	4	1	26.7	6	1	80.5
3	0	0.5	5	0	38.0	9． 1	82	87.4
4	3	0.7	6	75	54.0	2	483	81.9
5	4	0.1	7． 1	83	67.9	3	76	78.1
6	0	0.2	2	59	43.7	4	86	70.8
5． 1	3	0.2	3	2	39.0	5	84	49.6
2	10	1.1	4	2	33.3	6	17	43.6
3	17	3.8	5	1	24.6	１０． 1	19	61.7
4	8	4.8	6	3	18.3	2	16	49.4
5	2	9.0	8． 1	4	20.1	3	200	41.0
6	1	4.0	2	35	23.8	4	120	38.7
6． 1	31	5.0	3	35	37.3	5	121	37.1
2	16	7.6	4	39	39.4	6	108	36.5

注）農技センター屋上設置。＊：平成20年～平成29年の平均値

総 計	1925	1321.3

○設置場所：益田市飯田町

月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年
5． 1	4	3.4	7． 1	26	70.7	9． 1	95	116.4
2	12	2.8	2	1	48.4	2	350	141.1
3	60	5.3	3	0	27.9	3	29	104.9
4	68	11.0	4	0	37.9	4	51	182.3
5	67	25.5	5	0	34.7	5	44	148.2
6	31	27.0	6	13	40.3	6	50	222.9
6． 1	3	22.0	8． 1	8	22.2	１０． 1	100	205.1
2	0	13.8	2	29	40.2	2	76	144.2
3	0	19.7	3	39	66.5	3	77	108.5
4	0	23.7	4	177	58.8	4	74	96.0
5	0	51.6	5	3	96.3	5	90	98.2
6	21	73.2	6	55	170.4	6	176	244.5
注）＊：平成20年～平成29年の平均値						総　計	1829	2805.6

（２）発生状況調査
　モンシロチョウと同時に調査を行った。
①巡回による調査
　ア．夏秋キャベツ
　　○松江地区

調査年月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	寄生株率(%)
18．8．24	13	23.1	2.0
18．9．25	10	20.0	2.0

注）調査株数：20株/圃場(8.24)、20株/圃場(9.25)。

9）シロイチモジヨトウ
（１）フェロモントラップによる雄成虫の誘殺状況
①半旬別誘殺数
○設置場所：出雲市芦渡町

月．半旬	本 年	*平 年	月．半旬	本 年	*平 年	月．半旬	本 年	*平 年
4． 1	0	0.0	6． 3	0	0.2	8． 5	4	2.3
2	0	0.0	4	0	0.0	6	12	6.2
3	0	0.0	5	0	0.5	9． 1	50	4.7
4	0	0.0	6	4	0.2	2	101	3.3
5	0	0.0	7． 1	1	0.3	3	22	4.9
6	0	0.0	2	0	0.1	4	9	1.5
5． 1	0	0.0	3	0	0.5	5	26	3.9
2	0	0.0	4	1	1.0	6	15	1.5
3	6	0.0	5	1	0.9	１０． 1	55	3.0
4	3	0.0	6	0	0.8	2	8	0.9
5	0	0.8	8． 1	1	0.8	3	0	1.0
6	0	0.6	2	8	3.2	4	0	0.4
6． 1	0	0.0	3	3	2.6	5	1	0.0
2	0	0.1	4	10	1.6	6	1	0.3
注）農技センター屋上設置。＊：平成20年～平成29年の平均値						総　計	156	35.5

○設置場所：益田市飯田町

月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年
5． 1	0	0.0	7． 1	10	2.9	9． 1	146	15.4
2	0	0.0	2	2	1.0	2	122	16.2
3	4	0.0	3	5	2.6	3	39	27.7
4	3	0.3	4	2	3.4	4	61	29.7
5	2	0.7	5	4	1.4	5	172	28.4
6	3	0.5	6	12	2.3	6	9	28.4
6． 1	2	0.5	8． 1	0	6.9	１０． 1	22	36.4
2	0	0.3	2	0	5.2	2	13	15.0
3	0	0.6	3	17	10.3	3	1	16.1
4	0	0.8	4	37	11.8	4	2	14.7
5	2	2.1	5	15	11.4	5	1	8.5
6	11	3.5	6	70	14.5	6	6	4.3
注）＊：平成20年～平成29年の平均値						総　計	1837	158.1

１０）オオタバコガ

（１）フェロモントラップによる雄成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺数

○設置場所：出雲市芦渡町

月．半旬	本 年	*平 年	月．半旬	本 年	*平 年	月．半旬	本 年	*平 年
4． 1	0	0.0	6． 3	0	0.0	8． 5	0	0.1
2	0	0.0	4	0	0.0	6	0	0.2
3	0	0.0	5	0	0.0	9． 1	0	0.0
4	0	0.0	6	0	0.0	2	0	1.1
5	0	0.0	7． 1	0	0.0	3	1	0.0
6	0	0.0	2	0	0.1	4	0	0.9
5． 1	0	0.0	3	0	0.1	5	4	0.6
2	0	0.0	4	0	0.1	6	0	0.1
3	0	0.0	5	0	0.1	１０． 1	1	0.0
4	0	0.0	6	0	0.0	2	2	1.4
5	0	0.0	8． 1	0	0.1	3	2	0.9
6	0	0.0	2	0	0.0	4	1	0.5
6． 1	0	0.1	3	0	0.0	5	2	0.9
2	0	0.0	4	0	0.0	6	22	1.4
注）農技センター屋上設置。＊：平成20年～平成29年の平均値						総　計	9	8.7

○設置場所：益田市飯田町

月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年
5． 1	0	0.2	7． 1	0	0.1	9． 1	0	0.2
2	0	0.2	2	0	0.3	2	1	0.0
3	0	0.4	3	0	0.3	3	0	0.1
4	0	0.5	4	0	0.2	4	0	0.1
5	0	0.0	5	0	0.1	5	0	0.7
6	0	0.1	6	0	0.4	6	0	0.5
6． 1	0	0.1	8． 1	0	0.0	１０． 1	15	0.6
2	2	0.0	2	0	0.1	2	0	0.5
3	0	0.0	3	0	0.3	3	1	0.5
4	0	0.0	4	1	0.0	4	0	1.5
5	0	0.1	5	0	0.1	5	1	0.5
6	0	0.5	6	0	0.3	6	5	3.0
注）＊：平成20年～平成29年の平均値						総　計	21	13.5

11）キスジノミハムシ

（１）発生状況調査

モンシロチョウと同時に調査を行った。

①巡回による調査

ア．夏秋キャベツ

○松江地区

調査年月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	寄生株率(%)	10株当り成虫数
18.8.24	13	46.1	5.0	0.6.
18.9.25	10	20.0	4.0	0.4

注）調査株数：20株/圃場。

（Ⅱ）タマネギ

１．病害虫に関する調査結果

１）べと病

（１）発生状況調査

①巡回による調査

調査月日	調査場所	調査圃場数	発生圃場率(%)	調査株数	発病株率(%)
’18. 3.23	斐川町	30	16.7	978,680	0.027
4.17	斐川町	30	23.3	9,000	1.3
5.14	斐川町	25	52.0	7,400	10.7

２）白色疫病、ボトリチス属菌による葉枯症、腐敗病・軟腐病、さび病

（１）発生状況調査

①巡回による調査

調査月日	調査場所	調査圃場数	白色疫病		ﾎﾞﾄﾘﾁｽ属菌による葉枯症		腐敗病･軟腐病	
			発生圃場率(%)	発病株率(%)	発生圃場率(%)	発病株率(%)	発生圃場率(%)	発病株率(%)
’18. 3.23	斐川町	30	30.0	3.6	3.3	0.1	16.7	0.8
4.17	斐川町	30	0.0	0.0	6.7	0.1	26.7	1.8
5.14	斐川町	25	0.0	0.0	8.0	0.1	48.0	11.6

注）調査株数：300株/圃場。さび病の発生はみられなかった。

（Ⅲ）イチゴ

１．病害虫に関する調査結果

１）灰色かび病

（１）発病状況調査

①巡回による調査

調査年月日	調査場所	調査圃場数	発生圃場率(%)	発病株率(%)	調査葉数	発病葉率(%)	調査花梗数	発病花梗率(%)	調査果実数	発病果率(%)
’18.3.29	安来市	10	50	19.2	3805	3.2	2560	0.6	2255	0.9
4.19	安来市	10	30	8.8	4155	0.5	2115	0.2	1305	0.8
12. 6	安来市	9	33.3	2.7	2060	0.0	2170	0	1885	0.5
’19.2. 6	安来市	9	55.6	7.6	2465	0.6	2385	0.3	1675	0.7

注）１圃場当り25株調査

2）うどんこ病

（1）発病状況調査

①巡回による調査

調査年月日	調査場所	調査圃場数	発生圃場率(%)	発病株率(%)	調査葉数	発病葉率(%)	調査花梗数	発病花梗率(%)	調査果実数	発病果率(%)
'18.3.29	安来市	10	40	4.4	3805	0.1	2560	0.2	2255	0.3
4.19	安来市	10	30	6.0	4115	0.1	2115	0.0	1305	0.6
5.31	安来市	8	37.5	19.5	1395	6.6				
6.27	安来市	9	55.5	12.9	975	8.4				
7.31	安来市	9	0	0.0	780	0				
9. 3	安来市	8	0	0.0	780	0				
10. 4	安来市	10	10	0.4	1390	0.1				
11. 1	安来市	10	20	1.2	1715	0.2	1295	0		
12. 6	安来市	9	55.6	7.1	2060	0.5	2170	0.8	1885	1.3
'19.2. 6	安来市	9	22.2	1.3	2465	0	235	0	1675	0.2

注）1圃場当り25株調査

3）炭疽病

（1）発病状況調査

①巡回による調査

調査年月日	調査場所	調査圃場数	発生圃場率(%)	調査株数	発病株率(%)
'18.6.27	安来市	9	0	4500	0
7.31	安来市	9	88.9	4500	5.1
9. 3	安来市	8	62.5	4000	2.1
10. 4	安来市	10	40	5000	0.4
11. 1	安来市	10	40	5000	0.5

注）1圃場当り500株調査

4）アブラムシ類

（1）黄色水盤による有翅虫の誘殺状況

①半旬別誘殺数

月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年
4．1	1	1.4	7．1	16	87.0	10．1	15	46.8
2	0	2.8	2	3	58.1	2	12	31.8
3	0	3.2	3	1	46.4	3	1	25.9
4	1	7.5	4	1	19.6	4	3	12.3
5	3	9.2	5	0	11.4	5	6	26.5
6	2	21.0	6	0	16.4	6	4	54.3
5．1	5	39.4	8．1	0	17.3			
2	5	36.3	2	6	15.8	総　計	402	1541.4
3	7	33.0	3	6	12.3			
4	4	44.4	4	10	18.5			
5	5	53.2	5	10	20.1			
6	22	55.0	6	6	21.7			
6．1	45	55.6	9．1	5	20.8			
2	66	59.3	2	5	24.1			
3	31	82.1	3	10	28.3			
4	11	103.3	4	10	50.5			
5	22	66.9	5	10	46.3			
6	17	117.7	6	10	37.9			

注）1黄色水盤：径20㎝、深さ18㎝、ライシメータ上に設置。
　　2調　　査：平成30年4月から10月に1～6日おきに飛び込み有翅虫数を調査した。
　　3　＊　　：平成20年から平成29年までの平均値。

（２）発生状況調査
①巡回による調査
○安来地区

調査年月日	調査圃場数	ワタアブラムシ		ﾁｭｰﾘｯﾌﾟﾋｹﾞﾅｶﾞｱﾌﾞﾗﾑｼ	
		発生圃場率(%)	寄生株率(%)	発生圃場率(%)	寄生株率(%)
18.1.30	6	33.3	8.0	0	0
18.3.30	10	30	9.0	0	0
18.4.19	10	40	4.0	0	0

注）調査株数：10株(1株3複葉)/圃場。

５）ハダニ類
（１）発生状況調査
アブラムシ類と同時に調査を行った。
①巡回による調査
○安来地区

調査年月日	調査圃場数	カンザワハダニ		ナミハダニ	
		発生圃場率(%)	寄生葉率(%)	発生圃場率(%)	寄生株率(%)
18.1.30	6	0.0	0.0	100	48.3
18.3.30	10	0.0	0.0	80	65.0
18.4.19	10	0.0	0.0	80	70.0

注）調査株数：10株(1株3複葉)/圃場。

６）アザミウマ類
（１）発生状況調査
アブラムシ類と同時に調査を行った。
①巡回による調査
○安来・出雲地区

調査年月日	調査圃場数	アザミウマ類	
		発生圃場率(%)	寄生株率(%)
18.1.30	6	0.0	0.0
18.3.30	10	30.0	3.0
18.4.19	10	90.0	21.0

注）調査株数：10株(1株3複葉)/圃場(3.30調査)，10株(1株3複葉)/圃場(4.22調査)。

７）コナジラミ類
（１）発生状況調査
アブラムシ類と同時に調査を行った。
①巡回による調査
○安来・出雲地区

調査年月日	調査圃場数	コナジラミ類	
		発生圃場率(%)	寄生株率(%)
18.1.30	6	50.0	10.0
18.3.30	10	60.0	17.0
18.4.19	10	30.0	7.0

注）調査株数：10株(1株3複葉)/圃場(1.30,3.30,4.19調査)。

Ⅳ）花弁

（Ⅰ）キク

１．病害虫に関する調査結果

１）白さび病

（１）発病状況調査

①巡回による調査

○調査場所：出雲市

調査年月日	調査圃場数	白さび病	
		発生圃場率(%)	発病葉率(%)
５月16日	5	20.0	1.0
６月18日	5	0	0
10月３日	4	0	0
11月２日	4	0	0
12月３日	4	0	0

２）アザミウマ類

（１）発生状況調査

①巡回による調査

○調査場所：出雲市

調査年月日	調査圃場数	アザミウマ類	
		発生圃場率(%)	寄生株率(%)
５月16日	5	25.0	6.0
６月18日	5	25.0	3.0
８月24日	5	0	0
10月３日	4	0	0
11月２日	4	0	0
12月３日	4	0	0

３）アブラムシ類

（１）発生状況調査

①巡回による調査

○調査場所：出雲市

調査年月日	調査圃場数	アブラムシ類	
		発生圃場率(%)	寄生株率(%)
５月16日	5	40.0	1.6
６月18日	5	0	0
８月24日	5	20.0	0.8
10月３日	4	0	0
11月２日	4	0	0
12月３日	4	0	0

Ⅴ）病害虫発生程度別面積 2018（H.30）

農作物名	作付面積(ha)	病害虫名	程度別発生面積(ha)					防除面積(ha)		備考
			甚	多	中	少	計	実	延	
普通期水稲	17,500	苗立枯病	0	0	5	35	40	13,300	13,300	
		苗いもち	0	0	0	20	20	0	0	
		葉いもち	0	4	80	640	724	12,000	13,000	
		穂いもち	0	4	21	512	537	8,500	10,500	
		紋枯病	1	60	380	2,700	3,141	6,000	7,500	
		白葉枯病	0	0	0	5	5	0	0	
		ばか苗病	0	1	3	20	24	13,200	13,200	
		もみ枯細菌病	0	0	0	15	15	100	100	
		もみ枯細菌病（種子消毒）					－	-13,200	-13,200	
		ごま葉枯病	3	20	200	4,500	4,723	-5,000	-5,000	
		黄化萎縮病	0	0	0	5	5	0	0	
		縞葉枯病	0	0	0	10	10	0	0	
		萎縮病	0	0	0	0	－	0	0	
		稲こうじ病	0	1	5	100	106	500	500	
		ニカメイガI	0	0	0	2,500	2,500	-11,680	-11,680	
		ニカメイガII	0	0	0	2,070	2,070	-10,000	-10,000	
		セジロウンカ	0	0	0	2,070	2,070	-10,000	-10,000	
		トビイロウンカ	0	0	0	1,000	1,000	10,000	10,000	
		ヒメトビウンカ	0	0	0	6,020	6,020	-11,680	-11,680	
		ツマグロヨコバイ	0	0	0	7,440	7,440	-10,000	-10,000	
		イネミギワバエ	0	0	0	1,000	1,000	-11,680	-11,680	
		イネドロオイムシ	0	0	0	60	60	-11,680	-11,680	
		イネゾウムシ	0	0	0	600	600	-11,680	-11,680	
		イネクロカメムシ	0	0	10	140	150	130	130	
		斑点米カメムシ類	0	0	0	16,000	16,000	10,100	10,100	
		イチモンジセセリ	0	0	0	1,000	1,000	0	0	
		フタオビコヤガ	0	0	0	1,000	1,000	0	0	
		イネヨトウ	0	0	0	50	50	0	0	
		アワヨトウ	0	0	0	50	50	0	0	
		コブノメイガ	0	0	0	2,400	2,400	0	0	
		イネミズゾウムシ	0	0	0	9,700	9,700	11,680	11,680	
麦	617	さび病類	0	0	0	3	3	0	0	
		うどんこ病	0	0	0	0	－	0	0	
		赤かび病	0	0	1	9	10	550	1,000	
		黒節病	0	0	0	5	5	0	0	

農作物名	作付面積(ha)	病害虫名	程度別発生面積(ha)					防除面積(ha)		備考
			甚	多	中	少	計	実	延	
大豆	805	アブラムシ類	0	0	22	70	92	300	350	
		ハスモンヨトウ	0	3	52	250	305	400	600	
		吸実性カメムシ類	1	10	100	300	411	400	500	
なし	74	黒斑病	1	6	14	24	45	45	585	
		黒星病	0	1	5	29	35	74	518	
		ナシヒメシンクイ	0	0	4	10	14	74	148	
		ナシオオシンクイガ	0	0	0	0	0	0	0	
		モモシンクイガ	0	0	0	10	10	74	148	
		ハマキムシ類	0	0	13	25	38	74	148	
		ハダニ類	0	20	45	75	140	74	222	
		カメムシ類	0	0	10	30	40	74	222	
		カイガラムシ類	0	0	0	10	10	74	74	
		アブラムシ類	0	0	15	20	35	74	74	
		ニセナシサビダニ	15	20	15	24	74	74	222	
かき	313	炭そ病	0	0	3	17	20	250	1,500	
		うどんこ病	2	10	20	75	107	250	750	
		落葉病類	0	5	15	35	55	250	750	
		カキノヘタムシガ(カキミ	0	0	20	60	80	250	500	
		カイガラムシ類	5	20	70	125	220	250	750	
		カメムシ類	0	10	85	100	195	250	1,000	
		ハマキムシ類	0	10	30	30	70	250	500	
		チャノキイロアザミウマ	0	0	30	45	75	250	500	
		カキクダアザミウマ	0	0	0	50	50	250	500	
夏秋キャベツ	50	黒腐病	0	0	2	8	10	25	50	
		菌核病	0	0	0	8	8	25	50	
		アブラムシ類	0	1	2	13	16	30	50	
		モンシロチョウ	0	0	2	7	-	50	200	
		コナガ	0	0	1	15	-	50	200	
		ヨトウガ	0	1	2	7	10	50	200	
		オオタバコガ	0	0	4	10	14	50	200	
		ハスモンヨトウ	0	2	20	10	32	50	200	
		シロイチモジヨトウ	0	0	0	0	0	0		
冬キャベツ	120	黒腐病	0	0	3	14	17	40	60	
		菌核病	0	0	3	14	17	45	90	
		アブラムシ類	0	1	2	13	16	30	50	
		モンシロチョウ	0	0	5	20	25	120	240	
		コナガ	0	0	3	15	18	120	240	
		ヨトウガ	0	1	15	20	36	120	240	
		オオタバコガ	0	0	1	10	11	120	240	
		ハスモンヨトウ	0	2	15	68	85	120	240	

農作物名	作付面積(ha)	病害虫名	程度別発生面積(ha)					防除面積(ha)		備考
			甚	多	中	少	計	実	延	
タマネギ	107	白色疫病	0	5	10	25	40	80	320	
		べと病	0	10	15	30	55	107	749	
		ボトリチス属菌による葉枯	0	0	0	35	35			
		ネギアザミウマ	0	0	0	20	20	20	20	
イチゴ	19	灰色かび病	0	0	2	9	11	19	60	
		うどんこ病	0	0	0	6	6	19	80	
		炭疽病	0	0	2	6	8	19	60	
		アブラムシ類	0	1	3	6	10	15	45	
		アザミウマ類	0	0	3	5	8	10	30	
		ハダニ類	1	4	7	3	15	16	96	
きく	8	白さび病	0	0	0	3	3	8	40	
		アザミウマ類	0	0	0	4	4	8	56	
		アブラムシ類	0	0	1	4	5	8	56	

Ⅵ）病害虫発生経過の概要及び発生原因の解析(2018・H30年)

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
イネ	いもち病	葉いもち 平年並 穂いもち 平年並	葉いもち 少ない 穂いもち 少ない	６月上旬の置き苗でのいもち病の発生圃場率は0.6%（平年0.5%）と平年並みであった。葉いもちの初発生は６月13日とほぼ平年並みであった。７月下旬の巡回調査（70圃場）における発生圃場率は、7.1%（平年12.1%）、発病株率が0.5%（平年5.1%）と少なかった。全般の発生も少なかった。穂いもちは、８月下旬の巡回調査（70圃場）における発生圃場率は0%（平年8.9%）、発病穂率は0%（平年0.3%）で、県下全般の発生量は少なかった。	前年のいもち病の発生が少なかったが、育苗期のいもち病の感染はほぼ平年並みあった。アメダス観測15地点におけるBLASTAMによる６月の感染好適日の出現回数は14回（平年27.8回）と少なかった。７月に入っても感染好適日の出現回数は16回（平年20.9回）とやや少なく、葉いもちの感染が抑制された。また、８月も晴天が続き感染好適日の出現回数は2回（平年17.0回）と少なく穂いもちの感染も抑制されたものと考えられる。	常習発生地では育苗箱施薬が行われた。また、発生に応じ薬剤散布が行われた。
	紋枯病	平年並	やや少ない	初発生は遅く、７月5日に認められた。７月下旬の巡回調査（70圃場）では、発生圃場率が14.3%（平年17.0%）、発病株率が1.4%（平年2.5%）と平年よりやや少なくなった。全般の発生量は平年よりやや少なかった。	近年、発生が多く伝染源量が多いと考えられるが、７月～８月には降雨頻度が低く感染が抑制されたと考えられる。	育苗箱施薬や発生に応じて出穂期までに薬剤散布が行われた。
	縞葉枯病	平年並	やや少ない	７月下旬の巡回調査（70圃場）における発生圃場率は0%、また、再生稲における発生圃場率（100圃場）も0%とやや少ない発生であった。	ヒメトビウンカの越冬世代～第１世代の発生量は平年並みであった。保毒虫率は0%（74頭調査）と低く、本病の発生量はやや少なかったものと考えられる。	これまでに、縞葉枯病が多発生した地域では、箱施薬剤等による媒介虫のヒメトビウンカに対する防除が行われた。
	セジロウンカ	遅い	少ない	予察灯での初飛来は平年と比べ遅く、その後の飛来量も平年と比べやや少なく経過した。現地圃場の成幼虫の発生は7月中旬に50株当り寄生虫数が0.6頭（平年69.3頭）、発生圃場率が11.8%（平年68.1%）と平年に比べやや少なかった。7月下旬においても寄生虫数は0.6頭（平年28.2頭）、発生圃場率が11.8%（平年70.8%）となり、全般の発生量は平年と比べ少なかった。	飛来時期は遅く、その後の飛来量も少なく経過したことから、全般の発生量は少なくなったと考えられる。	大部分の圃場では育苗箱施薬が行われてている。また、出穂時に穂いもち・ウンカ類の同時防除が行われた。
	トビイロウンカ	平年並	平年並	予察灯での飛来は確認されなかった。圃場での成幼虫の発生は７月上旬は50株当り虫数が0頭（平年0.12頭）、発生圃場率が０%(平年4.1%)と平年並みであった。8月下旬に50株当り虫数が０頭(平年2.6頭)、発生圃場率が０%(平年29.1%）と平年並みとなった。一部巡回調査以外の圃場で発生が確認されたため、県内に低密度ながら飛来している。全般の発生量は平年並みである。	飛来時期は確認されず、全般の発生量は平年並みとなったと考えられる。	大部分の圃場では育苗箱施薬が行われしている。また、出穂時に穂いもち・ウンカ類の同時防除が、収穫時期の遅い圃場では発生に応じて追加防除が行われた。
	斑点米カメムシ類	平年並	やや多い	６月下旬の圃場周辺雑草地でのすくい取り調査では、斑点米カメムシ類合計で発生量は14.9頭/20回振り、(平年7.9頭)と平年に比べてやや多かった。７月下旬の極早生品種出穂時の調査では、発生量は4.6頭/20回振り（平年7.2頭）と平年に比べやや少なかったが、圃場率は92.9%（平年80.8%）と平年に比べやや多かった。全般の発生量は平年に比べやや多く推移した。主な発生種はクモヘリカメムシ､アカスジカスミカメ、ホソハリカメムシであった。	圃場周辺雑草地での発生がやや多かったことから、全般の発生量はやや多くなったもの考えられる。	発生に応じて穂揃い・乳熟期～糊熟期に薬剤散布が行われた。
	イネミズゾウムシ	平年並	やや少ない	前年の発生はやや少なく、その後の発生量もやや少なかった。	-	大部分の圃場では育苗箱施薬が行われている。
	コブノメイガ	平年並	平年並	全般の発生量は平年並みであった。	-	大部分の圃場では育苗箱施薬が行われている。
	ツマグロヨコバイ	平年並	平年並	６月下旬の巡回調査では、捕獲数は1.6頭/50株（平年2.6頭）、発生圃場率は20.5%（平年36.7%）で発生量は平年並みだった。その後も発生量は平年並みであった。なお、予察灯での初飛来は平年比べて遅く、その後の飛来量は平年と比べてやや多かった。	-	大部分の圃場では育苗箱施薬が行われている。

	ニカメイガ	第一世代 やや早い 第二世代 平年並	第一世代 平年並 第二世代 やや少ない	予察灯への飛来は４月第５半旬に認められ、平年に比べやや早い。第一世代全般の誘殺数は平年並だった。６月下旬の巡回調査では、被害株率は0.02%（平年0.18%）で発生量は平年並だった。予察灯での第二世代の全般の誘殺数は平年と比べてやや多く、７月下旬の圃場での被害株率は平年に比べやや少なかった。	－	大部分の圃場では育苗箱施薬が行われている。
	ヒメトビウンカ	平年並	平年並	４月中旬の耕起前水田内の越冬世代成幼虫すくい取り調査では発生圃場率が70.0%（平年27.0%）、捕獲数が0.7頭（平年1.2頭）と平年並だった。６月下旬の調査では発生圃場率が20.5%（平年25.4%）、50株当り虫数が0.6頭（平年0.8頭）と平年並だった。		大部分の圃場では育苗箱施薬が行われている。
	フタオビコヤガ	平年並	平年並	全般の発生量は平年並みであった。	－	大部分の圃場では育苗箱施薬が行われている。
ムギ	さび病	平年並	平年並	コムギでは赤さび病が一部地域でみられた。オオムギの小さび病の発生は確認できなかった。全般の発生量はほぼ平年並みであった。	近年発生が少ないことから、伝染源量が少ないものと考えられる。	本病を対象とした薬剤散布は特に行われなかった。
	赤かび病	平年並	コムギやや多い オオムギ少ない	オオムギの発生は確認できなかった。コムギは、出穂の遅かった圃場や圃場内で出穂の遅いところで発生がみられ、発病程度の高い圃場もあった。全般の発生量はほぼ平年並みであった。	コムギでは出穂時期に感染に好適な降雨があったため、発生が助長されたものと考えられる。	ムギの種類に応じて出穂期以降、薬剤散布が実施された。
	うどんこ病	―	少ない	オオムギ、コムギとも巡回調査では発生を確認できなかった。	近年発生が少ないことから、伝染源量が少ないものと考えられる。	本病を対象とした薬剤散布は特に行われなかった。
ダイズ	ハスモンヨトウ	平年並	やや多い	フェロモントラップによる雄成虫の累積雄殺数は9月下旬までやや少なかったが、圃場での卵塊、幼虫の発生は多かった。1a当りの白変葉の数は平年よりやや多かった。発生量は平年よりやや多かった。	7月～8月の気温が平年よりも高かったため、発育が進み、発生が助長されたものと考えられる。	9月6日に技術情報を発表した。技術情報等を通じた注意喚起により圃場の発生に応じて薬剤散布が行われた。
ナシ	黒斑病	平年並	平年並	一部多発園もみられたが、全般の発生量は平年並みであった。	―	袋がけ時期を中心に薬剤散布がよく行われた。以後、収穫期まで薬剤散布が行われた。
	黒星病	平年並	平年並	一部多発園もみられたが、全般の発生量は平年並みであった。	―	開花期から袋かけ期を中心に薬剤防除が行われた。
	ナシヒメシンクイ	平年並	平年並	フェロモントラップでの越冬世代、第１世代雄成虫の誘殺時期は平年並み。誘殺数はすべての世代で平年並みとなった。果実の被害は全般には平年並みであった。	３月中下旬以降気温が高かったが、越冬世代成虫の発生時期は平年並みとなった。越冬量は平年並みであった。5月以降も6月と9月を除き気温は高く推移したが、定期的に薬剤防除が行われ発生量は平年並みとなった。また、本県ではほとんどが有袋栽培のため果実の被害は平年並みとなったと考えられる。	小袋掛け前に他害虫との同時防除が行われた。
	モモシンクイガ	平年並	平年並	フェロモントラップでの越冬世代、第１世代雄成虫の誘殺時期は平年並みであった。誘殺数、果実被害は全般に平年並みであった。	前年の発生は平年並みで、越冬世代成虫の発生量も平年並みと考えられる。春先から気温が高く推移したが、発生時期は平年並みとなった。また、本県ではほとんどが有袋栽培のため果実の被害は平年並みとなったと考えられる。	ナシヒメシンクイ、ハマキムシ類との同時防除が行われた。

ナシ	ハマキムシ類	平年並	平年並	フェロモントラップでのチャハマキ、チャノコカクモンハマキ越冬世代の発生時期は、平年並みであった。チャハマキ、チャノコカクモンハマキの発生量は平年並み、幼虫による被害も平年並みとなった。	３月は気温が高かったものの、越冬世代の発生時期は平年並みとなった。その後、気温は高く発生量は平年並みからやや多く推移した。6月以降定期的に薬剤防除が行われ、全体の発生量は平年並みとなったと考えられる。	ナシヒメシンクイ、モモシンクイガとの同時防除が行われた。
	ハダニ類	平年並	やや多い	4月下旬の発生量は花叢への寄生率は平年並みとなったが、その後、8月に発生量は増加した。その後発生は平年並みとなった。全般の発生量はやや多くなった。	カンザワハダニの越冬量はやや少なく、4月下旬にクワオオハダニの花叢への寄生がみられたが、平年並みとなった。その後、7月から8月にかけて降雨が少なかったため、7月に発生量が一時的に増加した。しかし、8月上旬に防除効果の高い薬剤が散布されたためその後の発生は抑制されたと考えられる。8月下旬から9月上旬にかけ降水量も多く発生はやや少なくなった。このため、全体の発生量はやや多く推移したと考えられる。	5月下旬～6月、7月上旬、8月上中旬を中心に薬剤散布が行われた。
	クワコナカイガラムシ	－	やや少ない	全般の発生量はやや少なかった。	－	防虫果袋が使用された。
	アブラムシ類	平年並	平年並	越冬成虫の発生時期は平年並みとなった。５月上旬の新梢への寄生程度は平年並みとなった。全体を通して発生時期、発生量は平年並みで推移した。	4月から気温が高く推移したが、発生時期は平年並みとなった。その後も6月から9月を除き、気温は高く推移したが、定期的に薬剤による防除が行われ、発生量は平年並みに推移したものと考えられる。	5～6月に薬剤散布が行われた。
カキ	炭疽病	平年並	平年並	全般の発生量は平年並みであった。	7月中旬～8月下旬までの降水量が少なかったこと、また炭疽病を主体とした防除体系が行われたため、発生量が平年並みとなったと考えられる。	梅雨時期と８月下旬～９月を中心に薬剤散布が行われた。
	うどんこ病	やや早い	平年並	初発は平年と比べてやや早く6月下旬だった。発生量は7月下旬まではやや多く推移したが、8～9月には平年並みとなった。	7月中旬～8月下旬までの気温が高く推移したこと、8月下旬以降の防除が徹底されたため、発生量が平年並みとなったと考えられる。	８月下旬～９月を中心に薬剤散布が行われた。
	円星落葉病	平年並	平年並	一部多発圃場もみられたが、全般の発生量は平年並みであった。	近年、発生量が少ない傾向が続いているため、越冬菌量が少なかったことと、薬剤防除が徹底されたためと考えられる。	５月～７月に薬剤散布が行われた。
	カキミガ	平年並	平年並	果実での発生量、被害とも平年並みであった。	防除効果の高い薬剤が適期に散布されたためと考えられる。	各世代発生期に薬剤散布が行われた。
	カメムシ類	平年並	やや多い	フェロモントラップでは４月26日から、予察灯では５月14日から誘殺された。その後、８月に入り誘殺数が増加した。被害は平年並みとなった。	昨年はヒノキ毬果が平年並みでカメムシの越冬量は平年並みと考えられた。本年はヒノキの花粉飛散量から毬果はやや多かったが、７月から８月にかけて降雨がなくヒノキ毬果の劣化が進んだため圃場への飛来時期は平年並みとなった。飛来量はやや多いと考えられる。８月7日には注意報を発令し、９月上旬まで発生に応じた薬剤防除を行ったため被害は平年並みとなったと考えられた。	各世代発生期に薬剤散布が行われた他、注意報の発表に伴い発生に応じた薬剤散布が実施された。
	カキクダアザミウマ	平年並	平年並	5月12日に被害捲葉の発生を認めた。発生量は平年並みであった。第１世代成虫は6月第5半旬から粘着トラップに誘殺され、誘殺数は平年並みであった。果実被害は7月中旬からみられたが、被害量は平年並みであった。	越冬成虫の飛来量が平年並みであったこと、成虫飛来時期の薬剤散布と被害捲葉の除去などの防除対策により、果実被害の発生量は平年並みとなったと考えられる。	越冬成虫飛来期の薬剤散布と捲葉の切除が行われた。
夏秋キャベツ	黒腐病	平年並	平年並	県内各地で発生がみられたが、全般の発生量は平年並みであった。	－	薬剤による防除が行われた。
	菌核病	平年並	平年並	県内各地で発生がみられたが、全般の発生量は平年並みであった。	－	薬剤による防除が行われた。

夏秋キャベツ	コナガ	ー	少ない	幼虫の発生量は全般に平年に比べて少なかった。	ー	定植時の粒剤施用または灌注（土壌またはセルトレイ）と、その後は他のチョウ目害虫との同時防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	ー	やや多い	フェロモントラップによる雄成虫の累積雄殺数は9月下旬までやや少なかったが、圃場での卵塊、幼虫の発生は多かった。発生量は平年よりやや多かった。	7月～8月の気温が平年よりも高かったため発育が進み、発生が助長されたものと考えられる。	定植時の粒剤施用または灌注（土壌またはセルトレイ）による防除が行われた。また、9月6日に技術情報を発表した。この技術情報を通じた注意喚起により圃場の発生に応じて薬剤散布が行われた。
冬キャベツ	黒腐病	平年並	平年並	県内各地で発生がみられたが、全般の発生量は平年並みであった。	ー	薬剤による防除が行われた。
	菌核病	平年並	平年並	県内各地で発生がみられたが、全般の発生量は平年並みであった。	ー	薬剤による防除が行われた。
	コナガ	ー	やや少ない	幼虫の発生量は全般に平年に比べやや少なかった。寄生株率は1.0%(平年2.3%)とやや少なかった。	ー	定植時の粒剤施用または灌注（土壌またはセルトレイ）と、その後は他のチョウ目害虫との同時防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	ー	やや少ない	フェロモントラップによる雄成虫の累積誘殺数は平年よりもやや少なかった。９月下旬の寄生株率は0%（平年3.5%）と少なかった。全般の発生量はやや少なかった。	成虫の飛来が少なかったため、発生量が少なかったと考えられる。	定植時の粒剤施用または灌注（土壌またはセルトレイ）と、その後は他のチョウ目害虫との同時防除が行われた。
タマネギ	白色疫病	やや早い	やや多い	３月下旬における発生圃場率は30.0%（平年30.0%）、発病株率は3.6%（平年1.2%）となった。全般の発生量はやや多かった。	１月下旬から２月上旬の積雪によって植物体の抵抗力が弱り、雪解けの水によって感染が拡がり発生量がやや多くなったと考えられる。	発生に応じて薬剤散布が行われた。
	べと病	平年並	平年並	３月下旬における越年罹病株の発生量は2.7株/1万株（平年6.7株/１万株）、発生圃場率は16.7%（平年29.8%）と平年並みであった。その後、二次感染株の発生が県内各地で認められたが、５月下旬における発生圃場率は52.0%（平年52.3%）、発病株率は10.7%（平年13.2%）と平年並みであった。	４月上旬から中旬の降水量が少なく推移したため二次感染による発生量が抑えられたが、５月の降水量が多く気温も高く推移したため平年並みの発生量になったと考えられる。	越年罹病株の抜き取りや発生に応じた薬剤散布が行われた。
イチゴ	灰色かび病	やや早い	やや多い	県内各地で発生がみられ、全般の発生量はやや多かった。	１月下旬から２月上旬の気温が低く、施設を閉め切っていたため、施設内が過湿となり感染が拡がり発生量がやや多くなったと考えられる。	薬剤による防除が行われた。
	うどんこ病	平年並	平年並	県内各地で発生がみられたが、全般の発生量は平年並みであった。	ー	薬剤による防除が行われた。

イチゴ	炭疽病	平年並	やや多い	県内各地で発生が認められ、全般の発生量はやや多かった。	7月から8月の気温が高く、かん水量・回数ともに増えたため感染が拡がり発生量がやや多くなったと考えられる。	薬剤による防除が行われた。
	アブラムシ類	－	平年並	促成、半促成栽培における全般の発生量は40%(平年22%)と平年に比べてやや多かったが、寄生株率は4.0%（平年4.2%）と平年並みであった。	－	定植時とその後は発生に応じて薬剤散布が行われた。

Ⅶ）情報の提供、諸報告に関する事項

１．情報の提供方法及び提供先

１）郵送（＊印は注意報のみ）

○国関係

＊農林水産省 消費･安全局植物防疫課、＊同中国四国農政局 消費･安全部 安全管理課植物防疫係、気象庁松江地方気象台。

○国立研究開発法人

農業･食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター、同果樹茶業研究部門、同ブドウ･カキ研究拠点、同西日本農業研究センター。

○他県関係

＊鳥取、＊岡山、＊広島、＊山口、＊徳島、＊香川、＊愛媛、＊高知、各県担当課。

○県内関係

農業技術センター、島根県立松江農林高等学校、同出雲農林高等学校、同邇摩高等学校、同矢上高等学校、同益田翔陽高等学校、同図書館。

○県内団体

島根県農業協同組合、農業振興協会。

○報道機関

朝日、山陰中央、サンケイ、島根日日、中国、毎日、読売 各新聞社出雲支局（出雲市役所記者室）、ＮＨＫ松江放送局、同出雲通信部、山陰放送、同ラジオ総局、山陰中央テレビ放送局、同出雲通信部、日本海テレビ、同出雲通信部。

２）ＦＡＸ

○県内関係

中山間地域研究センター。

○報道機関

日本農業新聞松江支局、同中国四国支所、出雲ケーブルテレビジョン、石見ケーブルテレビ。

３）メール

島根県農林水産部 農業経営課、同農産園芸課、東部農林振興センター、西部農林振興センター、各農業普及部（松江、浜田、安来、雲南、出雲、県央、大田、益田）、隠岐支庁農林局 農業振興グループ、同島前地域振興グループ、農林大学校、各市町村、全国農業協同組合連合会中四国営農資材事業所、各農業共済組合、島根県農薬卸商協会、各病害虫防除員。

４）ホームページ

発生予察情報（発生予報、特殊報、注意報、臨時情報）。

２．発表状況

（１）発生予察情報の発表状況

種　類	発表回数	発表部数	対　象　病　害　虫
発生予報	８回	２００部	○イネ 葉いもち２回、穂いもち３回、紋枯病４回、白葉枯病３回、縞葉枯病２回、萎縮病１回、黄化萎縮病１回、ヒメトビウンカ４回、ニカメイチュウ５回、ツマグロヨコバイ４回、イネミズゾウムシ３回、セジロウンカ４回、トビイロウンカ４回、コブノメイガ３回、斑点米カメムシ類４回。 ○ムギ うどんこ病２回、赤かび病２回、さび病類２回。 ○ダイズ ハスモンヨトウ１回。 ○ナシ 黒斑病７回、黒星病４回、シンクイムシ類６回、ハマキムシ類３回、ハダニ類７回、アブラムシ類２回、カメムシ類２回。 ○カキ 円星落葉病１回、うどんこ病３回、灰色かび病１回、カキミガ３回、チャノキイロアザミウマ１回、カメムシ類３回、カキクダアザミウマ２回。

種　類	発表回数	発表部数	対　象　病　害　虫
			○果樹全般 カメムシ類２回。 ○キャベツ 黒腐病１回、菌核病１回。 ○アブラナ科野菜 アブラムシ類１回、コナガ２回、アオムシ１回、ハスモンヨトウ２回。 ○タマネギ ボトリチス属菌による葉枯れ３回、べと病３回、腐敗病・軟腐病３回、白色疫病１回。 ○イチゴ 灰色かび病２回、うどんこ病２回、アブラムシ類２回、ハダニ類２回。
注 意 報	１ 回	２００部	○カキ、ナシ、スモモ：果樹カメムシ類　１回
特 殊 報	１ 回	２００部	○トルコギキョウ：トルコギキョウ斑点病　１回
技術資料	２ 回	２００部	○イチゴ：ハダニ類　１回 ○ダイズ、アブラナ科野菜：ハスモンヨトウ　１回

３．発表内容

１）注意報

（１）第１号（平成３０年８月　７日）　　カキ、ナシ、スモモ：果樹カメムシ類

２）特殊報

（１）第１号（平成３０年８月１０日）　　トルコギキョウ：トルコギキョウ斑点病

３）技術資料

（１）第１号（平成３０年４月　４日）　　イチゴ：ハダニ類
（２）第２号（平成３０年９月　６日）　　ダイズ、アブラナ科野菜：ハスモンヨトウ

【問い合わせ先】
島根県病害虫防除所［担当：澤村・奈良井］
ＴＥＬ：０８５３－２２－６７７２
ＦＡＸ：０８５３－２４－３３４２

平成３０年度病害虫発生予察情報　注意報第１号

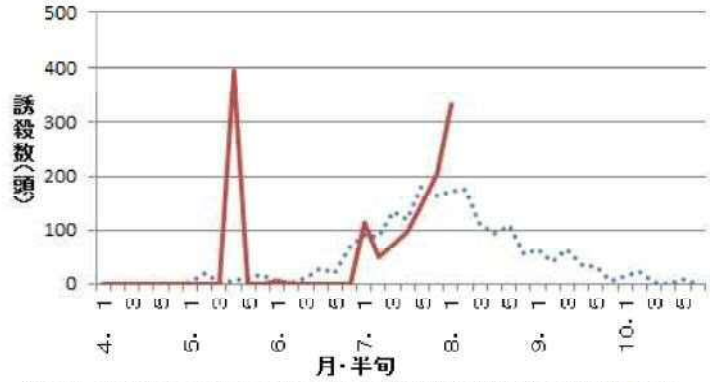
平成30年８月７日
島　　根　　県

果樹を加害するカメムシ類の発生量が多く、カキ、ナシなどで被害が多発生する恐れがありますので注意報を発表します。現地では発生状況の把握に努めるとともに、発生園では適切な防除対策を講ずるよう指導をお願いします。

記

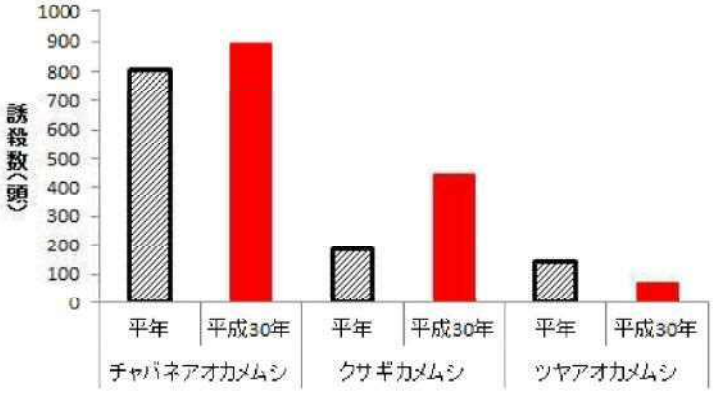
１．病害虫名　　果樹カメムシ類
２．発生地域　　県内カキ、ナシ、スモモ栽培地帯
３．発生時期　　８月中旬～
４．発 生 量　　やや多い～多い
５．注意報発表の根拠
１）予察灯（出雲市）でのチャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシの４月～８月第１半旬までの累積誘殺数は1,413頭（平年値1,137.8頭）と平年に比べやや多く推移している。７月第６半旬、８月第１半旬の予察灯での３種カメムシ類の誘殺数は538頭（平年値335.3頭）と増加傾向にある（第１図）。
２）予察灯における３種カメムシ類の誘殺数はチャバネアオカメムシ894頭（平年値807.1頭）、クサギカメムシ446頭（平年値183.2頭）、ツヤアオカメムシ70頭（142.3頭）とクサギカメムシの割合が高い（第２図）。
３）７月下旬の巡回調査ではカキでの被害果率は0.4%（平年値1.6%）と平年並みであるが、今後カキや無袋栽培のナシなどで被害が発生する恐れがある。なお、有袋栽培のナシでも果実の肥大にともない果実袋を通して加害される恐れがある。
４）８月の気象は本種の発生に助長的であり被害が増加する恐れがある。
５）カキ、ナシ（無袋）の摘果作業はほぼ終わっている。

６．防除対策及び防除上の注意事項
１）山間地や山沿いの園ではカメムシ類の発生加害が多いので特に注意する。
２）薬剤の使用にあたっては、農薬使用基準ならびに本県農作物病害虫雑草防除指針を遵守する。



第1図　予察灯における果樹カメムシ類3種の誘殺消長(平成30年)

…… 平年　——平成30年



第2図　果樹カメムシ類3種の種別誘殺数(平成30年)

7．薬剤による防除

1）薬剤名、濃度及び使用基準（平成30年8月６日現在）

薬　剤　名	濃度及び使用基準			
	か　　き		な　　し	
アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	3日前／3回	2,000倍	前日／3回
アグロスリン水和剤	1,000～2,000倍	前日／3回	1,000～2,000倍	前日／3回
アドマイヤー顆粒水和剤	5,000～10,000倍	7日前／3回	5,000～10,000倍	3日前／2回
アディオン乳剤	2,000～3,000倍	7日前／5回	2,000倍	前日／2回
アルバリン・スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日／3回	2,000倍	前日／3回
スカウトフロアブル	1,500倍	7日前／5回	1,500倍	前日／5回
ダントツ水溶剤	2,000～4,000倍	7日前／3回	2,000～4,000倍	前日／3回
テルスター水和剤	1,000～2,000倍	14日前／2回	1,000～2,000倍	前日／2回
MR.ジョーカー水和剤	2,000倍	14日前／2回	2,000倍	14日前／2回

薬　剤　名	濃度及び使用基準	
	すもも	
ダントツ水溶剤	2,000～4,000倍	3日前／3回
アルバリン・スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日／3回

2）散布時期及び回数

発生に応じて数回散布する。

3）散布量：10ａ当たり　200～700ﾘｯﾄﾙ

平成30年８月10日
島根県病害虫防除所　担当：永島・奈良井
ＴＥＬ：０８５３－２２－６７７２
ＦＡＸ：０８５３－２４－３３４２

平成３０年度　病害虫発生予察情報　特殊報第１号（新病害発生情報）

トルコギキョウ斑点病の本県での発生が確認されたので特殊報を発表します。

【概況】

平成30年６月、県東部、県西部のそれぞれ１か所の施設栽培のトルコギキョウにおいて、下位葉～中位葉にかけて黒～灰褐色のすす状の病斑を示す株が確認された（写真1、２）。症状からトルコギキョウ斑点病の疑いがあったため、農林水産省神戸植物防疫所に診断を依頼したところ、*Pseudocercospora nepheloi-des*によるトルコギキョウ斑点病であることが判明した。

同様の症状は、平成27年11月に県西部の１か所で発生を確認したが、収穫期の発生で被害程度は軽微であった。国内における本病害の発生は、平成20年に福岡県で初めて確認され、その後、平成29年に高知県、大分県、熊本県、宮崎県、長崎県、平成30年に和歌山県、沖縄県、広島県、福島県で報告されている。

１　病害虫名　トルコギキョウ斑点病

２　病原名　*Pseudocercospora nepheloides*（=*P. eustomatis*）

３　作物名　トルコギキョウ

４　発生場所　県東部・西部

５　症状

初め、葉に5～10mmの退緑斑を生じ、その後、黒～灰褐色のすす状の病斑となる（写真１、２）。病斑上には、小黒点（分生子座）が多数形成（写真３）され、顕微鏡で観察すると分生子の形成（写真４）が確認される。病斑は下位葉を中心に発生（写真１）し、その後、上位葉へと伸展する。

写真１　ほ場での発生状況

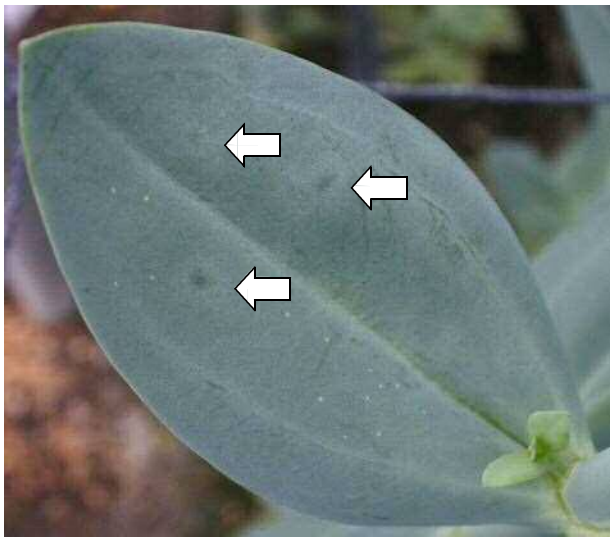


写真２　初期症状（退緑斑にすす状の病斑が薄らとみえる）

６　発生生態

１）本病の発生生態についての詳細は不明であるが、発病葉に形成された分生子により伝染すると考えられる。
２）感染から２～４週間で発病すると推察される。
３）夏期の高温期を除き、春から秋まで多湿条件下で多発する。

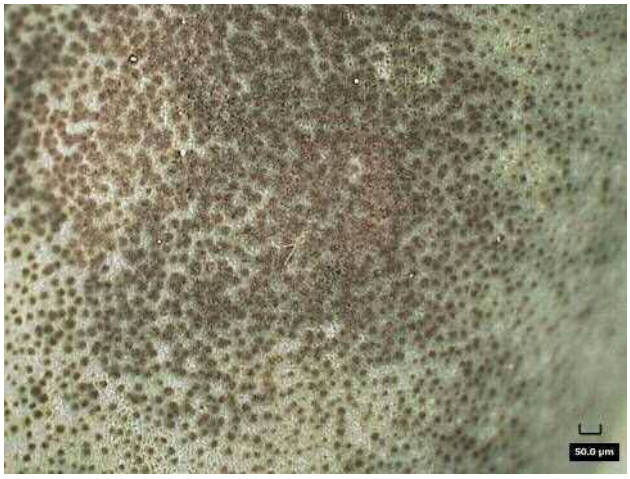


写真３　病斑の拡大（分生子座）

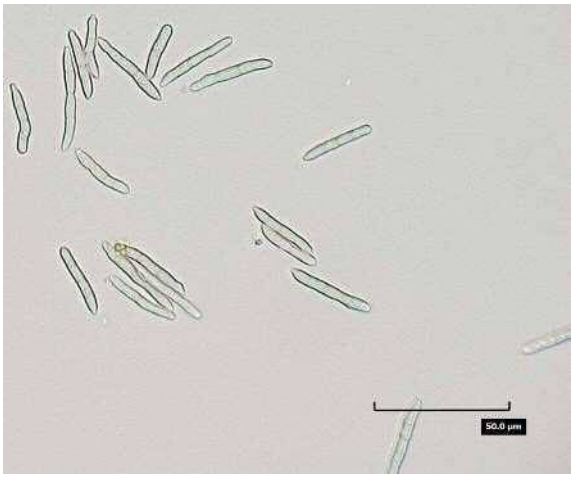


写真４　分生子

７　防除対策

１）多湿条件で発生が助長されるため、施設内の換気に努める。
２）罹病株の残渣は伝染源となるため、施設外に持ち出し、適切に処分する。
３）薬剤による防除は、発生してからでは手遅れになることもあるため（感染から２～４週間で発病すると推察される）、発生前から10～14日間隔で行う（表１）。ただし、薬剤の汚れが発生するため、使用時期には注意する。
４）発生を認めた場合は、発病葉を除去してから薬剤防除を行う。
５）2度切り栽培において、前年に発病した場合には、多発生することが懸念されるため特に注意する。

表１　斑点病（花き類・観葉植物）に登録のある薬剤（平成30年７月末現在）

農薬名	使用時期	希釈倍率	使用回数	使用方法
ダコニール1000	－	1000倍	６回以内	散布

８　その他

疑わしい症状が発生している場合は、島根県病害虫防除所（農業技術センター病虫科：0853-22-6772）に連絡する。

【問い合わせ先】
島根県病害虫防除所［担当：山本・奈良井］
ＴＥＬ：０８５３－２２－６７７２
ＦＡＸ：０８５３－２４－３３４２

平成３０年度　病害虫発生予察情報　技術資料第１号

平成３０年４月４日
島根県病害虫防除所

イチゴにおけるハダニ類の発生状況について

平成３０年３月２９日の巡回調査では、イチゴに寄生するハダニ類が多くのほ場で確認されています。現地では発生状況の把握に努めるとともに、薬剤散布など適切な防除対策をお願いします。

１．現在の発生状況

１）平成３０年３月２９日の巡回調査において、ハダニ類（主にナミハダニ）の発生ほ場率は80.0%(平年55.7%)、発生株率は65.0%(平年19.6%)、寄生小葉率は50.2%(平年14.5%)と平年と比較すると発生量が多い。

２）１か月予報(3月29日広島地方気象台発表)によると、向こう１か月の気温は高く、ハダニ類の発生を抑制する要因とはならない。

２．防除対策および防除上の注意事項

１）ハダニ類は葉裏に多く寄生しているため、薬剤散布を行う場合は、葉裏に薬液が付着するよう丁寧に散布する。また、繁茂している場合は薬剤が葉裏にかかりやすくするため事前に葉かきを行う。

２）ハダニ類が寄生した株で葉かきを行ったときは葉を速やかに施設外に持ち出し、ハダニ類の分散を防止する。

左：ハダニ類による被害葉、右：ナミハダニ雌成虫

３）薬剤の選定や薬剤散布の際には、ミツバチに対しての影響を十分に考慮する。

４）薬剤の使用に当たっては、農薬ラベルに記載の使用方法・注意事項を確認のうえ使用する。

５）天敵製剤を使用しているほ場では、天敵に影響の少ない薬剤を選択する。

６）ハダニ類は薬剤感受性が低下しやすいので、薬剤の効果を確認し、複数回散布する場合は系統の異なる薬剤をローテーション散布する。薬剤については表１を参照。

３．薬剤防除（農薬登録内容は平成３０年３月３０日現在の情報に基づき作成しました。使用にあたっては必ず最新の「農薬登録情報」を確認してください。）

使用の際は同一系統（IRACコード）の薬剤の連用は避ける。

表１　イチゴのハダニ類に使用できる主な薬剤

系統　※１ IRACｺｰﾄﾞ	薬剤名	希釈倍率	使用時期	散布液量 （10a当り）	使用回数
気門封鎖※２	粘着くん液剤	100倍	収穫前日まで	150～300ﾘｯﾄﾙ	－
気門封鎖	サンクリスタル乳剤	300～600倍	収穫前日まで	150～500ﾘｯﾄﾙ	－
気門封鎖	フーモン	1000倍	収穫前日まで	150～500ﾘｯﾄﾙ	－
気門封鎖	サフオイル乳剤	300～500倍	収穫前日まで	100～500ﾘｯﾄﾙ	－
気門封鎖	還元澱粉糖化物液剤※３	100倍	収穫前日まで	100～300ﾘｯﾄﾙ	－
3A	ロディー乳剤	1000～2000倍	収穫前日まで	100～300ﾘｯﾄﾙ	3回以内
6	アファーム乳剤	2000倍	収穫前日まで	100～300ﾘｯﾄﾙ	2回以内
6	コロマイト水和剤	2000倍	収穫前日まで	100～300ﾘｯﾄﾙ	2回以内
10A	ニッソラン水和剤	2000～3000倍	収穫前日まで	100～300ﾘｯﾄﾙ	2回以内
10B	バロックフロアブル	2000倍	収穫前日まで	100～350ﾘｯﾄﾙ	1回
20B	カネマイトフロアブル	1000～1500倍	収穫前日まで	150～300ﾘｯﾄﾙ	1回
20D	マイトコーネフロアブル	1000倍	収穫前日まで	100～300ﾘｯﾄﾙ	2回以内
21A	ピラニカEW	2000～3000倍	収穫前日まで	150～300ﾘｯﾄﾙ	2回以内
25A	スターマイトフロアブル	2000倍	収穫前日まで	100～300ﾘｯﾄﾙ	2回以内
25A	ダニサラバフロアブル	1000倍	収穫前日まで	100～350ﾘｯﾄﾙ	2回以内
25B,21A	ダブルフェースフロアブル	2000倍	収穫前日まで	100～300ﾘｯﾄﾙ	1回

※１　IRACコードとは殺虫剤を作用機構別に分類してつけられたもので、同じIRACコードの薬剤を連用すると殺虫剤抵抗性の発生リスクが高まるので、薬剤選択の際は注意する。

※２　気門封鎖剤は薬剤抵抗性の発生リスクが低く、使用回数に制限がないため連用できる。しかし、ハダニ類に直接十分量が付着しないと防除効果がないため、ハダニ類にかかるよう丁寧に散布する必要がある。

※３　薬剤名は一般名であり該当薬剤は複数あるため使用に当たっては登録内容をよく確認する。

【問い合わせ先】
島根県病害虫防除所［担当：山本・奈良井］
ＴＥＬ：０８５３－２２－６９０４
ＦＡＸ：０８５３－２４－３３４２

平成 30 年度　病害虫発生予察情報　技術資料第 2 号

平成 30 年 9 月 6 日
島根県病害虫防除所

ダイズ及びアブラナ科野菜等におけるハスモンヨトウの発生状況について

現在、ダイズ及びキャベツにおけるハスモンヨトウの発生は、発生ほ場率、寄生株率とも平年と比べて高く推移しています。現地では、ほ場において発生状況の把握に努めるとともに、薬剤散布など適切な防除対策をお願いします。

記

１．現在の発生状況

１）８月下旬のダイズでの巡回調査における本種幼虫による１ａ当たりの白変か所数は 0.8 か所（平年 0.4 か所）、発生ほ場率は 40%（平年 21.5%）と平年と比べてやや多い。

２）８月下旬のキャベツでの巡回調査における発生ほ場率は 23.1%（平年 8.5%）、寄生株率は 2.0%（平年 1.0%）と平年と比べてやや多い。

３）８月６半旬までの累積誘殺数は県東部で 438 頭（平年 645.5 頭）、県西部で 617 頭（平年 993.3 頭）と平年と比べてやや少ない（第１図、第２図）。

４）向こう１ヶ月の気象(8 月 30 日広島地方気象台発表)は、ハスモンヨトウの発生についてやや抑制的である。

２．耕種法による防除

表皮だけ残した白変葉（ダイズ）や卵塊が確認された場合は、すみやかに葉ごと切り取りほ場の外へ持ち出して処分する。

ダイズの白変葉

幼虫

卵塊

３．薬剤防除

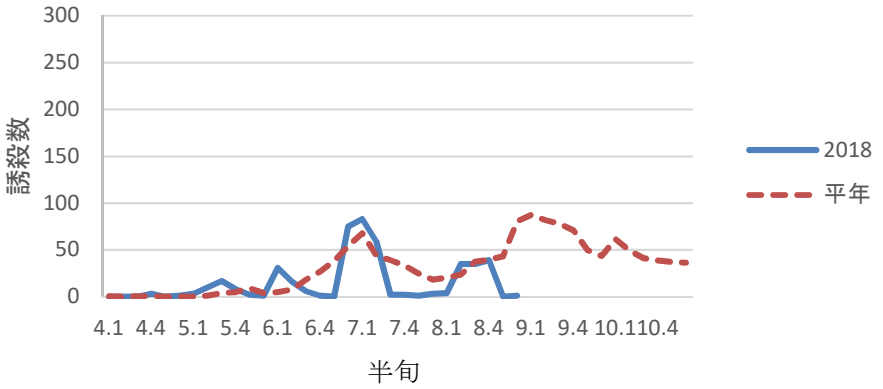
１）薬剤散布は作物とハスモンヨトウに登録のあるものを使用する。

２）薬剤の選定に当たってはミツバチ等訪花昆虫への影響を充分に考慮する。

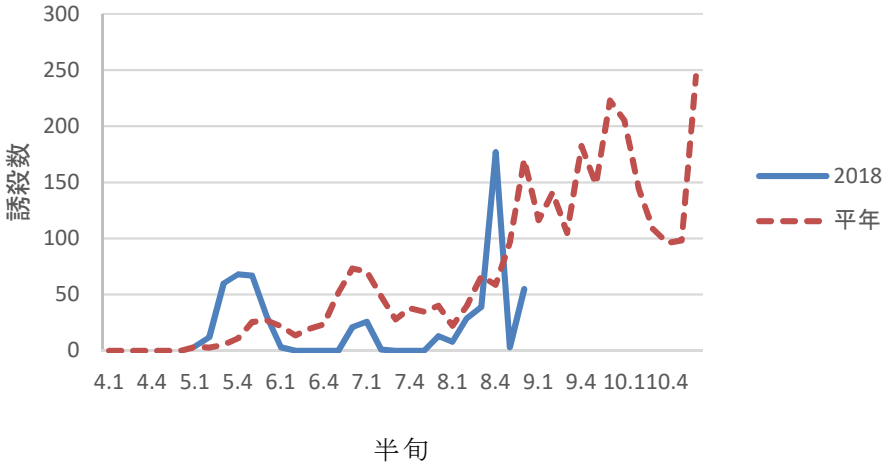
３）薬剤の使用に当たっては、農薬ラベルに記載の使用方法・注意事項を確認のうえ使用する。また、薬剤散布は周辺作物への飛散に十分注意する。

４．その他

その他の野菜や果樹の一部ほ場でハスモンヨトウの被害が認められている。



第１図　出雲市の性フェロモントラップにおけるハスモンヨトウの誘殺消長



第２図　益田市の性フェロモントラップにおけるハスモンヨトウの誘殺消長

Ⅷ）気象表（平成30年）

観測地点：出雲市芦渡町２４４０（海抜２０ｍ）

月	半旬	平均気温		最高気温		最低気温		降水量		日照時数	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
	1	4.8	5.4	8.0	9.1	2.3	1.7	7.0	19.1	7.2	9.7
1	2	5.4	5.0	8.9	8.6	2.2	1.4	50.0	20.3	7.4	9.1
	3	2.3	4.8	5.7	8.3	-1.3	1.2	4.5	21.0	9.9	9.0
	4	7.7	4.5	12.3	8.0	3.9	0.9	38.5	20.5	10.1	8.9
月	5	2.0	4.2	5.5	7.7	-1.3	0.7	11.5	18.9	9.6	8.6
	6	1.6	4.0	4.7	7.6	-2.1	0.5	15.5	20.2	10.9	11.6
合計,平均		4.0	4.7	7.5	8.2	0.6	1.1	21.2	20.0	9.2	9.5
	1	2.0	4.2	5.2	7.9	-0.9	0.4	10.5	15.3	8.5	11.5
2	2	0.8	4.6	4.6	8.5	-3.3	0.6	37.5	15.2	12.5	12.8
	3	3.8	4.9	7.8	9.0	-1.2	0.7	0.5	16.8	10.8	13.7
	4	3.8	4.9	9.6	9.2	-2.5	0.7	0.0	18.7	26.6	14.9
月	5	5.0	5.1	10.6	9.4	-0.7	0.7	0.5	20.0	26.1	16.1
	6	6.1	5.4	13.0	9.8	-0.4	0.9	4.0	12.3	12.3	10.2
合計,平均		3.6	4.9	8.5	9.0	-1.5	0.7	8.8	16.4	16.1	13.2
	1	9.3	5.8	15.7	10.3	3.1	1.2	39.0	20.3	25.1	18.1
3	2	5.5	6.4	9.5	11.1	2.1	1.6	21.0	18.9	26.7	20.0
	3	10.7	7.2	17.4	12.0	2.9	2.0	10.0	18.6	43.3	22.1
	4	7.6	7.8	12.5	12.7	3.2	2.5	51.5	19.6	17.3	23.4
月	5	7.3	8.3	11.8	13.3	1.4	2.9	58.0	20.5	32.5	23.5
	6	11.2	9.0	18.0	14.0	3.6	3.5	0.0	24.0	65.2	29.5
合計,平均		8.6	7.4	14.2	12.2	2.7	2.3	29.9	20.3	35.0	22.8
	1	14.5	10.0	19.6	15.3	8.5	4.2	7.5	18.9	32.5	27.6
4	2	10.4	11.1	15.2	16.4	5.5	5.2	23.5	18.9	20.8	29.3
	3	13.8	12.0	18.2	17.4	7.8	6.2	14.0	19.0	22.0	29.8
	4	12.6	12.9	19.1	18.3	5.9	7.1	0.0	18.4	44.6	30.5
月	5	15.3	13.8	20.2	19.3	10.3	7.9	51.5	17.6	26.4	31.7
	6	15.1	14.7	21.3	20.2	8.2	8.7	0.0	18.3	50.4	33.1
合計,平均		13.6	12.4	18.9	17.8	7.7	6.6	16.1	18.5	32.8	30.3
	1	16.6	15.6	21.4	21.1	9.5	9.7	51.5	20.8	40.5	33.2
5	2	14.0	16.2	17.1	21.6	11.1	10.5	60.0	23.1	9.6	32.2
	3	17.5	16.5	22.9	21.8	11.2	10.9	38.0	23.6	38.8	32.1
	4	19.5	17.0	25.1	22.2	13.5	11.5	37.5	21.2	23.3	33.2
月	5	18.0	17.6	25.2	22.9	10.5	12.1	20.5	19.1	48.2	34.4
	6	20.0	18.4	26.1	23.7	14.7	12.9	15.0	23.3	22.2	41.3
合計,平均		17.6	16.9	23.0	22.2	11.8	11.3	37.1	21.9	30.4	34.4
	1	19.9	19.2	26.5	24.5	13.3	13.9	8.0	18.0	49.4	33.6
6	2	20.5	20.0	24.3	25.3	17.5	14.8	43.5	16.6	22.2	32.1
	3	18.4	20.6	21.4	25.8	15.6	15.8	24.5	21.0	17.7	30.0
	4	20.7	21.3	26.1	26.0	15.9	17.0	30.0	34.4	31.7	26.0
月	5	21.6	21.8	26.3	26.2	16.2	18.0	0.0	51.3	43.9	21.3
	6	24.7	22.4	28.3	26.5	21.0	18.9	160.0	60.2	7.1	19.7
合計,平均		21.0	20.9	25.5	25.7	16.6	16.4	44.3	33.6	28.7	27.1

＊：準正常値(品質に軽微な問題があるか、または統計値を求める対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている)を含む値。

月	半旬	平均気温		最高気温		最低気温		降水量		日照時数	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
	1	25.5	23.2	29.7	27.1	22.0	19.7	53.5	55.7	15.3	21.5
7	2	22.6	24.0	26.0	27.9	20.3	20.5	83.0	51.1	23.3	22.9
	3	26.0	24.6	30.7	28.7	21.7	21.1	0.0	51.4	54.6	24.3
	4	27.7	25.2	33.0	29.4	22.3	21.6	0.0	45.0	65.6	28.9
月	5	28.6	25.8	34.2	30.2	23.5	22.0	0.0	31.1	57.8	34.2
	6	28.3	26.3	34.2	30.9	22.8	22.3	2.0	22.6	58.2	43.9
合計,平均		26.5	24.9	31.3	29.0	22.1	21.2	23.1	42.8	45.8	29.3
	1	28.5	26.6	34.1	31.4	23.2	22.4	0.0	15.8	61.7	36.9
8	2	26.6	26.6	32.0	31.6	22.0	22.4	1.5	18.3	39.3	36.0
	3	28.5	26.5	34.2	31.4	24.4	22.5	5.0	20.6	35.0	34.2
	4	24.5	26.2	30.3	31.0	18.5	22.2	13.5	21.0	41.8	33.2
月	5	29.5	25.8	35.5	30.6	24.4	21.7	0.5	20.9	42.2	32.5
	6	27.5	25.2	32.2	30.2	22.8	21.0	12.5	27.3	43.1	37.3
合計,平均		27.5	26.2	33.1	31.0	22.6	22.0	5.5	20.7	43.9	35.0
	1	24.2	24.4	29.0	29.3	20.0	20.3	74.0	27.6	30.1	28.5
9	2	21.3	23.4	24.1	28.2	19.3	19.4	98.0	32.0	1.1	26.2
	3	22.7	22.5	27.1	27.3	19.7	18.4	36.5	32.6	13.1	25.4
	4	22.0	21.6	26.0	26.5	18.9	17.3	17.0	31.6	23.2	25.4
月	5	21.4	20.5	26.0	25.5	17.9	16.2	36.0	30.4	19.7	24.7
	6	18.7	19.5	22.3	24.5	15.5	15.1	145.5	26.6	16.6	24.0
合計,平均		21.7	22.0	25.8	26.9	18.6	17.8	67.8	30.1	17.3	25.7
	1	19.3	18.6	24.3	23.7	15.3	14.0	5.0	21.3	18.6	24.3
10	2	20.0	17.8	24.6	23.1	16.3	13.0	11.5	18.9	21.8	25.4
	3	15.4	16.9	20.3	22.4	10.9	11.8	1.5	18.8	23.4	26.6
	4	15.2	15.8	21.3	21.4	10.5	10.6	6.0	18.6	33.0	26.9
月	5	14.6	14.8	21.2	20.4	8.7	9.7	6.0	17.5	34.5	25.4
	6	14.6	14.0	17.8	19.5	11.1	8.9	35.0	21.5	13.1	28.4
合計,平均		16.5	16.3	21.6	21.8	12.1	11.3	10.8	19.4	24.1	26.2
	1	10.9	13.4	18.8	18.8	4.7	8.3	0.0	18.9	34.0	22.7
11	2	15.3	12.8	21.1	17.9	10.3	7.9	1.5	19.8	28.9	21.0
	3	11.5	11.9	16.5	16.7	7.1	7.2	4.0	20.4	20.2	18.0
	4	10.7	10.9	15.6	15.5	5.8	6.1	3.0	19.1	7.4	16.6
月	5	9.3	10.0	13.6	14.7	4.3	5.2	5.5	18.8	12.9	15.7
	6	10.7	9.3	16.3	13.8	5.1	4.8	5.0	21.5	16.1	14.3
合計,平均		11.4	11.4	17.0	16.2	6.2	6.6	3.2	19.8	19.9	18.1
	1	13.6	8.6	18.7	12.9	8.8	4.3	63.5	23.8	16.8	13.2
12	2	6.6	8.0	9.7	12.1	3.9	3.8	8.0	22.9	3.3	12.1
	3	5.7	7.4	9.0	11.2	2.9	3.4	36.5	20.5	6.9	11.2
	4	9.8	6.9	12.4	10.6	6.1	3.0	14.0	18.6	4.6	11.0
月	5	8.8	6.5	12.6	10.3	4.0	2.6	20.0	17.8	15.3	11.5
	6	4.0	6.0	7.3	9.8	1.2	2.1	31.5	21.5	8.0	13.1
合計,平均		8.1	7.2	11.6	11.2	4.5	3.2	28.9	20.9	9.2	12.0

西暦年の1位が1の年から数えて、連続する30年間について算出した累年平均値を平年値という。これをその統計期間に引き続く10年間使用し、10年ごとに更新する。したがって2011～2020年の間は、1981～2010年(昭和46～平成12年)の資料から算出された平年値を使用する。

平成３０年度　農作物有害動植物発生予察事業年報
２０２０年　3月　３１日　発行
編集･発行　島 根 県 農 業 技 術 セ ン タ ー
(資源環境研究部　病虫科)
島 根 県 病 害 虫 防 除 所
〒693-0035　島根県出雲市芦渡町２４４０番地
電　　話　（０８５３）２２－６７７２
Ｆ Ａ Ｘ　（０８５３）２４－３３４２